

令和5年度 事業報告書 北いきいき市民活動センター

【指定管理者：

特定非営利活動法人くらしネット21】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 14 名（常勤 3、非常勤 11）

【人材育成の取組】

- ・提案業務にかかる各実行委員会やイベント・研修会への積極的な参加を促す。
- ・共生館各団体へ出かけての研修会・交流会の実施。
- ・毎月の職員会議で、コンプライアンスや IT 活用に職員の意識の向上をめざす。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
318	274	157	169	330	345	318	328	306	322	326	318

(年間)

3511 件（前年度比 99.6%）

イ 利用状況

- 障がい者から学生団体・高齢者まで、幅広い年齢層の利用がある。
- 長時間利用する団体があり、20 時間を超えないように連絡を密にとる。

ウ 利用促進に向けた取組

- 参加人数の多い団体については、AB に分けたり別団体を立ち上げたりして登録するなど利便性を図るように工夫している。

エ その他

- サロンについて（ありません。）

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- HP を毎月更新。抽選会のお知らせだけでなく、センターでのイベント情報など情報発信に積極的に取り組み、YouTube に動画も配信。
- 共生館団体（HAPS・天才アート・楽只児童館・ツラッティ千本）との施設連絡会を毎月開催し、各取り組みについて広報・情報共有を行う。

イ 取組の効果

- 障がい者団体を中心に、横のつながりが広がりつつある。

(4) 管理運営

- 防火管理者の選定については、北いきセンより選出し共生館全体の消防計画を作成している。館の内外の清掃業務についても、点検表を作成して朝昼夜と利用者に気持ちよく使っていただけるように美化に努めている。

(5) その他

- 「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」
 - ・コンプライアンスや人権についての職員研修の実施。
 - ・地元にある高齢者施設「紫野」「ふなおか」との連絡会の実施。
 - ・地元学区社会福祉協議会との連携を密にとる。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】1-1 いきいき市民活動祭（楽し地域のつどい交流）（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：2024年9月16日（土）10時～12時
- 2 開催場所：北いきいき市民活動センター 多目的ホール
- 3 参加人数：90名（10団体）
- 4 協力団体等：実行委員会（楽只社会福祉協議会、楽只保育所、楽只児童館等）
- 5 予算：400,000円 / 決算：399,328円

1 事業内容

- 北いきいき市民活動センター利用団体による、音楽やダンスなどのパフォーマンス交流の場を設け、各団体の常々の活動や練習の成果を存分に発表してもらう祭典。
- 高齢者だけでなく、近隣児童施設の利用者や地域住民など幅広い観客を対象に、会場全体の交流を深める。

2 準備段階での工夫

- 当施設利用者だけでなく、隣接する保育所や児童館への早めの出演依頼と内容把握。
- 視力障がいのある方々の控室は普段の稽古場所をご利用いただくなどの配慮や、出演時の人員的なサポート体制。
- 発表サークルの系統が偏った前年度の反省を活かし、多岐にわたる種目団体に依頼。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 市民サークル活動の活性化と貸館事業の有効活用の力点にイベント交流を実施する。
- 当施設が入居する共生館の特徴（共学・共生）を生かし、地域住民の暮らしに寄り添い、各々が取り組む自主的なまちづくりの促進につなげる。

（2）事業実施による目標の達成度

- 当日は、幼児から小学生、ミドル層、高齢者、障がいのある方々と、当館を利用する幅広い世代の多岐にわたるサークルによる楽しい演目が、始終にぎやかに発表され、普段の各利用団体ごとの活動の枠を超えて、お互いの顔が見える交流となった。
- パフォーマンスをする各団体は、発表の機会に向けて向上心を持って事前から練習に取り組まれ、他団体の発表を見ることで、感動や新たな発見を通じ、今後の活動の糧となり得た。

4 今後の抱負

- 発表のしやすい文化系のサークルや団体には声をかけやすいが、スポーツ系の団体の交流も今後視野に入れたい。できるだけ幅広い利用団体の交流を図る工夫を凝らす。

事業風景の写真

①



よし笛サークル（利用団体）による演奏

②



フラフープと皿回しパフォーマンスをする楽只児童館の子どもたち

【事業名】1-2 いきいき楽ちゃんフェスティバル「夏まつり」

(夏の総合芸術文化祭) (市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 8 月 12 日（土）17 時～21 時
- 2 開催場所： いきいき市民活動センター 楽只保育所園庭
- 3 参加人数： 400 名（団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只社会福祉協議会・児童館・保育所・FUNAGORA）
- 5 予算： 500,000 円 / 決算： 497,882 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
イキセン利用団体の中から、ダンス・音楽交流と盆ダンスの総踊り。
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
ふれあい共生館内の団体の積極的な参加と交流。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
実行委員会には多くの団体が参画し、参加者主体を目指した多くの意見をいただくことができた。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
ラジオミックス・北区社会福祉協議会によるアナウンス。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
地元の高齢者施設・障がい者からの参加が増えたこと。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
幅広い年齢層の参加を得ることができた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
「食べ物コーナーを増やしてほしい」という希望が多かった。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
学区内だけでなく、広く市内からの参加がみられた。今後も、より多くの高齢者・障がい者・外国の方に参加して頂き、市民活動の交流を深めていきたい。

事業風景の写真



2023いきいき楽ちゃんフェスティバル アンケート 集計結果							(出演者 総数45)
アンケート項目	よかった		ふつう		どちらでもない		
①夏まつりに出演して。	44	98%	1	2.0%	0		
②夏まつりを楽しめたか。	43	96.0%	1	2.0%	1	2.0%	
③他の出演者やお客様との交流ができたか。	34	75.0%	8	18.0%	3	7.0%	
④また次の機会に参加したいと思ったか。	42	93.0%	3	7.0%	0		
■その他、お気づきの点やご意見など							
・ 進行について…							
・ 見るのも楽しかった ・ 大人もゆっくり見ながら、子どももほどよく楽しめる内容でとてもよかったです							
・ 盆踊りの練習がもう少し早めであれば、それだけでも子どもたちの参加が増えるかなと思いました							
・ 司会の方などががんばっているのがすごいなと思いました							
・ 学生の方などががんばってくださっていて沢山楽しめるコーナーがあって楽しかったです。おまつりと共に自分が出演できる時間があったことで、ますます思い出に残ったと思います							
・ 各ブース、舞台、盆踊りと、とてもにぎわっていたと思います。暑い中の準備、片付け、ありがとうございました							
・ 会場について…							
・ 児童館外門横でタバコを吸う人が多く、20本くらい吸い殻が捨ててあったので残念だった							
・ 当日は風があったので良かったが、気温が高く熱中症の心配があったと感じた							
・ 来られた方がゆっくり座れるイスがもう少しあればよいのかなと思いました							
・ ブースの数ステージの発表など参加者が楽しめる内容で良かったです							
・ 設営など車の搬入経路などの事前に確認できていたら良かったと思います							
・ 夕方からは校舎で影ができていたので、思ったよりは暑くなくて良かったです							
・ ダンスや盆踊りについて…							
・ 舞台を北側に設置して欲しいです ・ 今年はスピーカーの前でなくて踊りやすかった							
・ のりのりでめっちゃくちゃ良かったです ・ みんながちゃんと踊ってよかった。またこのイベントをして欲しい							
・ フクロウ仙人をステージの下ではなく、上にあがって子どもたちが踊ったのは保護者も見えて良かったと思いました							
・ 盆踊りの振り付けを覚える時間があればもっと楽しく皆様と交流ができたかも…とても楽しい時間をありがとうございました							
・ 出店について…							
・ もっとゲームを出してほしいです ・ たこ焼き・焼きそばがほしいです							
・ 食べ物のレパートリーをもう少しふやしてほしいです ・ 食べ物のしゅるいを多くしてもっと楽しみたい							
・ ブースが小さく混雑する時間帯があった。ベビーカーや小さい子と回るのは大変そうだった							
・ 出店するお店のショップカードが店頭にあったら欲しかったです							
・ その他…							
・ らいねんもコロナが終息していたらよいと思う ・ とても楽しく参加できました。みなさんの笑顔が素敵でした							
・ 昔からの友だちに会えてうれしかった ・ またやりたい お祭りの楽しさがわかった							
・ お母さんが応援してくれてよかった ・ 予定があれば、次回もよろしくお願いいたします							
・ 運営してくださった皆様に感謝申し上げます							
■今後おこなってほしいイベントや活動							
・ またこのイベントをして欲しい ・ 夏まつりへ向けての盆踊りの講習会							
・ 夏まつりを続けてほしいです ・ 盆踊りの曲の一つとして「日本全国〇〇音頭」を加える							
・ ダンスのイベント ・ 引き続き参加させていただきたいです							

【事業名】1-3 パラスポーツのつどい（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 3 月 9 日（土）13 時～16 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 多目的ホール・会議室 等
- 3 参加人数： 約 100 名（団体）
- 4 協力団体等：「パラスポーツのつどい」実行委員会（ライトハウス・FDF・さんりん舎）
- 5 予算： 300,000 円 / 決算： 290,259 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

ダンスサークルの指導によりダンスを行い、参加者同士の交流を深めた。多目的ホールでゴールボール・ドッジボール、会議室2でサウンドテーブルテニス、会議室1でペットボウリング・点字体験コーナー・白杖体験コーナーを実施。「つどい」の様子を YouTube に動画を配信した。

- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

実行委員会も3年目を迎え、自立的な運営ができるようになってきている。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。

ボランティアのメンバーが参加者に丁寧にかかわる様子がみられた。

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

昨年よりも多くの福祉団体・放課後等デイサービスに呼びかけた。

ラジオミックスによる広報。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。

グループを工夫し、体験だけでなく参加者同士の交流を図る。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。

参加者同士の励ましや声掛けなどの交流が増えた。

- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。

「ライトハウス近辺では普段から視覚障がい者に接することが多く、参加者もとても意欲的な様子がみられた。」

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

体験の機会を増やすため、佛教大学の車椅子バスケットとも連携する。

パラスポーツアンケート 集計結果 (3/9 Sat)

アンケート項目	よかった おもう	ふつう	どちらでもない
① いいあせを かくことができた。	57.0%	29.0%	14.0%
② ともだちと たのしむことができた。	86.0%	0.0%	14.0%
③ パラスポーツについて よくわかった。	57.0%	36.0%	7.0%
④ つぎのイベントがあれば 参加したい。	57.0%	29.0%	14.0%

■今後おこなってほしいスポーツや活動

・パラスポーツの他の種類もあれば教えてください。

・アイマスクをして絵を描きたい。

・ブラインドのバスケットやバレーがしてみたい。

・ブラインドゴルフ、サッカー、バスケット。

・ マラソン（アイマスクをして）

■その他、お気づきの点やご意見など

・特になし

事業風景の写真



ゴールボール体験



白杖体験

【事業名】2-1「船岡山西ストリート」まちづくりワークショップ

(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 1/12.27 (土) 15 時～17 時 / 2/8.29 (木) 19 時～21 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 多目的ホール、楽只児童館 遊戯室等
- 3 参加人数： 保護者・児童計 80 名 (団体)
- 4 協力団体等： 実行委員会 (楽只学区社会福祉協議会・児童館・保育所・保護者)
- 5 予算： 185,000 円 / 決算： 182,760 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
児童対象 西通りについての標語づくり。
保護者 現状の把握と改善に向けて意見交換。
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
地域の課題として、ライトハウスや高齢者施設施設にも呼びかける。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
地元の願いとして、京都市へも要望書を提出。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
地元社会福祉協議会広報誌にも記事にし、地域に広く発信する。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
保護者を巻き込んだまちづくり運動・教育運動としての推進。
「駐車しない」取組と道路整備の実現。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
盲学校の通学路については、土木事務所により高視認性区画線が設置された。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
「新入生の保護者への協力のお願いも大切」…

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
3 年目を迎えるにあたり、関係機関との連携を強化するとともに、船岡山の利用活性化 (公園利用) と合わせてワークショップを展開していく。

事業風景の写真



西通りの見守り活動



高視認性区画線



子どもと一緒に 標語づくり



【事業名】2-2「紙屋川たんけん」ワークショップ（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 8/19.26 9/9.30 10/7.21 12/2
- 2 開催場所： 紙屋川河川敷、HAPS スタジオ、楽只児童館 等
- 3 参加人数： 各回 15 名
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只児童館・HAPS）
- 5 予算： 190000 円 / 決算： 183,983 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
社会福祉協議会・児童館・HAPS より実行委員会を形成。
HAPS アーティストとのコラボによる栽培や紙すきの体験。
児童館・地域の子どもたちとの紙屋川探検の実施。
紙すきや拓本の体験の実施と作品展示。
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
特に複合施設としていろいろな機会に参画していただけるように工夫した。
Ex.施設連絡会・楽ちゃんフェスティバル・市民活動祭への参画

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
トロロの栽培については、畑の提供や水やりなど地域の方々にも協力を頂いた。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
京都新聞にも一連の活動を取り上げて頂いた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
一連の活動を通して、HAPS スタジオについての関心が高まった。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。
利用者・子どもたちにも複合施設としての関心が高まった。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
「伝統のある紙すきや拓本作りをぜひやってみたい」という声が多く聞かれた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
HAPS や天才アートと共に、市民活動センターとして広く芸術活動を発信していくようにする。

～ふれあい共生館の取組をご紹介します～

HAPS&楽只児童館によるトロロアオイのプロジェクト



↑ 苗ポットに種まき



↑ 漉いたら型枠から外す

2023年4月から、ふれあい共生館内の団体、HAPS所属アーティスト、三枝愛さんと楽只児童館の子どもたちが、紙漉きに挑戦したり、紙漉きの糊成分になるトロロアオイ(黄蜀葵)の苗をプランターで育てたりする活動に取り組んでいます。

鷹峯のふもとから千本通りの西を流れる川、南へ行けば「天神川」と名を変えますが、北区周辺では「紙屋川」と呼ばれます。平安時代には、宮中で使用する紙を漉く官舎があったことが語源といわれ、和紙を使った作品をたくさん発表されている三枝さんが、地元ゆかりの「紙漉き文化」を次世代につないでもらいたいと、定期的にワークショップを開催されています。

北いきセン3階のギャラリー掲示板にも、三枝さんが発行されている手描きの壁新聞を掲示しています。



【事業名】2-3「盆踊り保存会」（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 6/18.25 7/8.15.22 8/5 13 時～16 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 各回 15 名程度
- 4 協力団体等： 盆踊り保存会（くらしネット 2 1・ツラッティ教育の会・児童館）
- 5 予算： 450,000 円 / 決算： 449,435 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・音頭練習 太鼓練習 6 月から開始
 - ・江州音頭 踊りの講習会（保育所・児童館・イキセン）
 - ・本番 「いきいき楽ちゃんフェスティバル」で披露 8 月 12 日
 - ・本番 「市民活動祭」で披露
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
（特にありません）

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
上御霊神社の神輿の担ぎ手も関心を持って、練習に参加された。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
（特に広報はできていません）

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
伝統文化ボランティア育成として次代の担い手につなげたい。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。
保育所・児童館での踊りの講習会は、大いに盛り上がった。幅広い年齢層に楽しさを伝えていきたい。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
事前の講習会の成果もあり、フェスティバル当日には多くの盆踊り参加者がみられた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
歌い手（音頭とり）の人数が限られており、どのように伝えていくかが課題。

事業風景の写真



児童館での練習会



フェスティバル当日

【事業名】2-4「ラクシノクラシ」教育冊子プロジェクト（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 4 月 14 日（金）19 時～21 時（月 2 回程度） 等
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 各 8 名程度
- 4 協力団体等：プロジェクト（楽只学区社協・ツラッティ千本・HAPS 等）
- 5 予算： 450,000 円 / 決算： 428,690 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・「ラクシノクラシ」は千本地域の歴史・教育・まちづくりについて、全ページカラーでまとめられている。教育冊子プロジェクトとしての「ラクシノクラシ」による新たな広がりや活動を支援する
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
 - ・地元学区社協をはじめ、ツラッティ千本・HAPS・児童館等
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
 - ・京都新聞、ラジオミックスによる広報
 - ・全国人権啓発集会、人権交流京都市研究集会で冊子の紹介

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・冊子のより有効な活用を目指し、ドキュメンタリーの撮影や「千本の赤」のリニューアル編集・製作を支援する。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・4 月 22 日の周年記念行事（きたけん 50 周年・千本水平社創立 100 周年・楽只小学校創立 150 周年）には各関係者から多くの人たちが集い、親交を深めることができた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
 - ・部落問題をはじめ人権にかかわる様々な研修場面で、有効に活用されている。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・「部落問題解決の取組をより広く発信すること」をテーマとしたドキュメンタリー作品やかつて絵本として作成した「千本の赤」の映像化（アニメーション）を支援していく。

事業風景の写真



ラクシノクラシ のご案内



2019年3月、150年以上にわたって人権・同和教育を実践してきた京都市立楽只小学校が閉校しました。楽只小学校は、開校以来、学校としての役割はもとより、地域の人権発信の拠点として存在していました。地域にとって、楽只小学校の閉校は、「反差別の拠点の喪失」を意味するコトになります。そうした中で、楽只小学校が培ってきた学校文化である「すべての子どもに反差別の思想と共生の哲学」を次の時代に繋げていくツールとして活用できる本の発刊を企画しました。

本書は、楽只小学校の閉校と、2023年4月20日に迎える150周年を記念するものですが、2022年10月の部落解放研究北区集会（きたけん）50周年、2023年3月の千本水平社創立100周年も合わせた記念誌となっています。この記念すべき星まわりの年に、千本の歩んできた反差別・人権の歴史を冊子にまとめておきたいと考え、学校教育に限らず楽只学区（千本）の歴史やまちづくりなども網羅した三部構成の『ラクシノクラシ』を発刊いたしました。



近年、特定のグループなどによる被差別部落の地名や所在地のバラマキなどを契機に、「部落差別解消法」が施行され（2016年）、「被差別部落の地名や所在地などをどう扱うか」について、さまざまな議論がある中で、被差別部落からの発信として、『ラクシノクラシ』を通して、問題提起していきたいと考えています。

記念誌「ラクシノクラシ」編集委員会
委員長 後藤 直

ご購入や問合せは裏面をご覧ください。

【事業名】3-1「子どもの教育支援ボランティア養成」（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 1/10.12.17.24.26 2/7.9.14.16 等 17 時～19 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター会議室 児童館 近隣の小学校等
- 3 参加人数： 各回 15 名
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只児童館・佛教大学教育学部・ツラッティ教育の会）
- 5 予算： 101,680 円 / 決算： 101,672 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

児童生徒の理解の基本や障がいのある子どもへの理解、子どもの学習習慣や基本的な生活習慣の大切さについてレクチャー。

近隣小学校での授業参観と指導案の作成を実際に行う。

子どもたちと書き初めや昔の遊び大会など、一緒に楽しむ

- 評価委員会から指摘された事項（特にありません。）

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。

「ツラッティ教育の会」（教員 OB チーム）への協力依頼。

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

児童館でボランティア学生への呼びかけを行う。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・一人ひとり作成した指導案を持ち寄り、近隣の小学校での実際の授業を参観しその後話し合いを持ち、児童生徒への理解を深めることができた。
- ・児童館に在籍する児童を対象とした書初めと共同作品の作成を通して、仲間との一体感など、仲間づくりを実感する活動となった。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。
- 参加学生が若々しく熱心な話し合いがあり、子ども理解を深めることができた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。

共同作品制作では、子どもたちもいきいきと取り組み、その後の人間関係にもより良い効果がみられた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

今後、学生同士の模擬授業体験なども実施し教育支援に役立つボランティア養成をめざしたい。

事業風景の写真



子ども理解について OB よりレクチャー



子どもたちと書き初め

【事業名】3-2「わんぱくキッズプログラム ボランティア指導員養成」

(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 6/25 9/10 12/10（日）10 時～12 時
- 2 開催場所： 楽只保育所 園庭 等
- 3 参加人数： 指導者・保護者・子ども のべ 240 名
- 4 協力団体等： タグラグビー実行委員会（児童館・保育所・社協・ツラッティ教育の会）
- 5 予算： 475,000 円 / 決算：474,599 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・ラグビーボールに触れ、パスやタグ取りの楽しさを体験する。
 - ・簡単なゲームをする。
- 8:30 スタッフ集合 10:00 開会 準備運動 体験活動 12:00 閉会 後片付

- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
 - ・京都府タグラグビー協会、ツラッティ教育の会 OB からの支援。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
 - ・ラジオミックスによるアナウンス。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・元楽只小学校・嘉楽中学校のラグビー文化として根付かせ、ボランティアによって自走していく団体の育成をめざす。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・毎回連続して参加する児童・保護者がおられる。
 - ・南区や右京区など、幅広く市内からの参加が見られる。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
 - ・「ひろいグラウンドを走れるので気持ちがいい」（子ども）
 - ・「子どもにチームスポーツの楽しさを味わってほしい」（保護者）

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・参加した保護者が中心になって「保護者会組織」と「クラブ活動」をめざす機運が高まっているので、自走化に向けて支援していく。

事業風景の写真



2023

第3回 ふれあい共生館 タグラグビー 体験会



タグラグビーって知っていますか？ラグビーのタックルを「タグ」に置き換えてルールを単純化した子どもから楽しめるスポーツです。

昨年度から児童館・保育所の子どもたちを中心に体験会を行っています。初めてのお子さんも、経験のあるお子さんもお気軽に参加ください。栗只小学校・嘉楽中学校ラグビー部 08 のコーチ（栗只児童館・栗只保育所児童の保護者もおられます！）と一緒に、みんなで「タグラグビー」にチャレンジしてみましょう！

日時：2023年12月10日（日）

10:00~12:00

場所：京都市栗只保育所 園庭 （ふれあい共生館）

※雨天決行 雨天時は多目的ホールで実施（上靴をご持参ください）

警報等が出た場合は主催者より午前8時半ごろ中止の判断・指示があります

当日、参加されるお子さんの様子を見ながら、参加できる保護者の方は、ぜひ一緒に楽しみましょう！

対象：保育所・幼稚園年長児～小学生

服装：動きやすい服装、帽子

持ち物：水筒、汗拭きタオル

※当日のけがについては、応急救置を現場でします。

傷害保険に加入しますので、補償は加入保険の範囲内とします。

申し込み締め切り 12月1日（金）

以下の申込用紙を 栗只保育所・栗只児童館へお持ちください。

お電話でも申し込み可能です。（075-441-1012）

主催：ふれあい共生館タグラグビー実行委員会

共催：栗只児童館運営委員会・栗只児童館

体験無料です！
お気軽に〜♪



ふれあい共生館 タグラグビー体験会 申込書（2023.12.10）

体験者氏名① _____（年齢・学年 _____）

体験者氏名② _____（年齢・学年 _____）

参加して下さる保護者氏名 _____

中止の際の連絡先 _____（ _____ ）

【事業名】3-3「地域高齢者見守り・声かけボランティアリーダー養成（楽ちゃんキッズデリ）」
（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 11/25 12/23 2/24（土）9 時半～12 時
- 2 開催場所： 楽只児童館 楽只学区を 3 ブロックに分けて
- 3 参加人数： のべ 180 名
- 4 協力団体等：社会福祉協議会・民生児童委員・共生館各団体等
- 5 予算： 120,000 円 / 決算： 117,423 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・地域活動や市民活動の担い手の育成として、地域の独居高齢者を対象に年 3 回の配食サービスとしてお弁当を届ける。またそれに向け、事前に案内状を作成・配布する中で、見守り活動と声かけ活動を実施する。
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
 - ・共生館各団体にも参加していただくことで、共生館について認知が高まった。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・活動を通して、世代間を越えたボランティア活動をめざす。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・参加者全員にとって元気がでる活動となっている。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
 - ・「回を重ねるごとに、子どもたちの”あいさつ”や”声掛け”の対応の仕方が上手になってきている。」

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・「配食サービス」は、元楽只小学校の人権フィールドワークとして始まったものであり、その伝統を大切にしながらこれまで以上に地域の自走的な活動となるよう、計画や役割分担の中での支援をさらに進めていきたい。

事業風景の写真



【事業名】3-4「地域福祉ボランティア養成（共生社会推進支援者養成セミナー）」

（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2024年3月25日（月）18時～21時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 研修会参加 15人
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只まのあ・楽只児童館・楽只学区社協）
- 5 予算： 128,320円 / 決算： 102,373円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

・「京都市のデータから見る放課後等デイと相談支援事業の今後」

講師 松浦雅衛 氏（合同会社 mockup 代表） ・質疑応答 アンケート実施

- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

福祉関係者だけでなく、就学前後の保護者にも呼びかけをした。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。

講師を決めるのに、他の福祉団体のアドバイスをいただくことができた。

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

（今年度はあまり広く発信できなかった）

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。

・相談支援事業所・相談支援専門員の役割や重要性を知ることにより、子どもたちの支援について保護者
自らが選択できるサービスについて知ることができる。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。

・参加者は放課後デイサービスの現状と問題を理解し、相談支援事業所、相談支
援専門員の役割や重要性を知ることができた。

○アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。

・放課後デイサービスが重度の子が通える事業所がないことが問題。

・医療的ケアが必要であったり、虐待、親も障がい等の困難ケースは受け辛い。

・放課後デイの利用料が増額された為、利用控えが起こり事業所として利用者数は増えているが規制の影響が出ている。

・児童数は減少しているが相談件数が減っていない。放デイは家庭や学校以外の居場所として重要な役割を担っている。

・放課後デイは京都市の小学校より多いが相談支援事業所は数か所で足りていない。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

・参加者数を増やすために告知を早く行う。

・研修会でパワーポイントを使うなど工夫するとより分かりやすい。

事業風景の写真



まのあ 勉強会

参加費
無料

日時 3月25日(月) 18:00~20:00

場所 京都市北いきいき市民活動センター
会議室 2 (3階)

内容 京都市のデータから見る放課後デイと相談
支援事業の今後

講師 松浦 雅衛 氏

(合同会社 mockup 代表)



昨今、支援学校を卒業した方々の就労がますます大きな課題となってきました。今日は前回に引き続き、就労のしくみやあり方についてお話を聞きます。ぜひご参加ください。

主催 一般社団法人 楽只まのあ

協力 京都市北いきいき市民活動センター

お問い合わせ 075-441-1010

(資料)

bridge (放課後等デイサービス) 利用者の推移					
	2020	2021	2022	2023	2024
	R2.2	R3.2	R4.2	R5.2	R6.2
知的	12	12	15	14	13
身体	1	1	1	0	0
精神(発達)	9	10	10	7	10
その他(難病等)	0	0	0	0	0
合計	22	23	26	21	23
	20	22	24	20	22

←重複している

bridge (障害児相談支援) 利用者の推移					
	R2.2	R3.2	R4.2	R5.2	R6.2
放課後等デイ/bridge利用中	19	20	22	17	18
放課後等デイ/bridge利用無	10	15	17	18	23
合計	29	35	39	35	41
計画相談	0	0	1	5	5
困難ケース	0	1	3	4	8

↓放課後デイ

- ・2024/4から5領域(①健康/生活②運動/感覚の認知/行動③言語/コミュニケーション④人間関係/社会性)を全て含む総合的な支援
- ・支援時間を①30~90分②90~180分③180分以上 ※今までは30分以上のみ
- ・以前から60分のマンツーマン支援(※塾、習い事のイメージ)を国が問題視
- ・報酬等、放課後デイはおおよそ型が決まった感じ
- ・重身(医療的ケア児)放課後デイも総量規制の対象なのは問題あり

↓障害児相談支援

- ・放課後デイと違い、事業所数はほぼ横ばい
- ・増えない一番の要因は「報酬の低さ」、二番目は「周りにやっている人がいない」
- ・困難ケースは増加傾向
- ・困難ケースの定義は特に無いが、個人的に①医療的ケア児②虐待③親が障害持ち

【事業名】3-5「地域の歴史・文化活動ボランティア養成と歴史研究発表・

講演等イベント活動」

(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 全体研修会 2023 年 12 月 13 日（月）18 時～21 時 （研究会月 1 回程度）
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 研究会 各 10 名 全体研修会 18 名
- 4 協力団体等： 地域歴史研究会
- 5 予算： 450,000 円 / 決算： 416,240 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・地域の寺院の成立からの移り変わりについて調査研究を行う。
 - ・全体研修会 12 月 13 日（月）
テーマ「近現代の京都の被差別部落における生活文化」
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
正覚寺、蓮生寺
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・高津本屏風の研究を柱に、資料収集・分析を協働する人材確保を支援する。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・地域のお年寄りや住職から、寺院の文化風俗についての聞き取りを行うことができた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
 - ・地域の寺院の移り変わりについて、市内五か村の寺院との関連も知りたい。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・昨年の「北区ウォーキング」の成果を受けて、広く人材育成とネットワーク化に向けた支援をする。

事業風景の写真



お年寄りからの聞き取り



西寺（蓮生寺）

(資料)

近現代の京都の被差別部落における生活文化

(「千本 地域歴史研究会」 研修会)

佛教大学大学院

文学研究科歴史学専攻

西村優汰

2023年12月13日

地域に暮らす人々によって築き上げられてきた「生活文化」

1 信仰とお寺

2 葬礼の風習

葬礼の流れ

通夜・葬式の形態の変遷

通夜・葬式の食事

出棺と葬列

逮夜勤めと忌明け

3 法事の風習

年回のお勤め

オクヨ

供養風呂

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：4,389,009 円（前年度比 120.2%）
内訳 会議室等：4,214,229 円
付属設備： 174,780 円 ※自主事業分を除く
スモールオフィス：実施せず

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】 令和5年11月実施

【調査項目】 窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時に参加者アンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
17.7%	79.0%	2.6%	0.0%	0.7%

(2) センター独自アンケート

○結果の概要：概ね満足（2.「3事業実施による目標の達成度」に記載）

3 意見等への主な対応状況

○ 利用者からの意見で対応したものを記載してください。

- ・ 抽選会のスムーズな進行をめざす。
- ・ 施設の利用について「5分前退出」を協力していただく。
- ・ 気持ちの良いあいさつの励行。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

指定管理2年目を迎え、順調に管理運営が進んでいる。提案業務についても、共生館内の団体をはじめ多様な団体とのネットワークを築くことにより交流・進化を進めている。

- ・ 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

経年劣化が少しずつ出てきており、施設の点検・維持管理に気をつけている。

- ・ 次年度に向けた対応について記載してください。

各実行委員会や運営委員会の取り組みが定着しつつある。今後も、市民活動支援について、各団体が自走化できるように担い手や人材育成・活動の支援に積極的に関わっていく。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

○ 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

- ・ 重大な事故やコンプライアンス違反等は、ありません。
- ・ 年間事業計画にある事業については、事業はすべて実施。
③-④と③-⑤の研修会については、2回計画していたところ、講師の先生の都合で1回のみ実施となった。次年度に実施の予定。
- ・ 3年次へ向けて、継続・充実させていく。

例) 年間事業計画にある事業の中で、実施できなかった事業があった場合は、その事業の名称及び内容、実施できなかった理由、中止した事業の取扱い（翌年度（令和6年度）に実施するのか、しないのか。）等を簡潔に記載

5月22日（水）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙1部を提出

※ 地域自治推進室の確認後、紙の残部（17部又は18部）を提出

※ 収支決算書は、5月15日（水）までに提出してください。

京都市北いきいき市民活動センター

指定管理料等に関する収支決算書（令和５年度分）

指定管理者名 特定非営利活動法人くらしネット２１

代表者名 後藤 直

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		19,342,280	19,342,280	0
利用料金収入		3,500,000	4,389,009	889,009
	会議室等	3,350,000	4,214,229	864,229
	スモールオフィス	0	0	0
	付属設備（自主事業を除く）	150,000	174,780	24,780
その他収入	光熱水費分担金	0	0	0
	個別事業参加費	0	0	0
				0
				0
				0
当期収入合計		22,842,280	23,731,289	889,009
【支出の部】				
１．施設運営業務				
人件費		14,360,000	13,917,347	442,653
	職員３名	5,500,000	5,315,748	184,252
	非常勤職員１１名	7,060,000	6,881,671	178,329
	法定福利費	1,650,000	1,463,964	186,036
	福利厚生費	150,000	255,964	▲ 105,964
光熱水費		2,630,000	2,375,262	254,738
	電気代	2,400,000	2,177,540	222,460
	ガス代	130,000	122,873	7,127
	水道代	100,000	74,849	25,151
施設管理費		0	0	0
	樹木剪定			0
	定期清掃等			0
	機械警備			0
	消防保守点検			0
	E V保守点検			0
	空調保守点検			0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検			0
	自家用電気工作物			0
	雑用水用給水設備			0
	建築設備点検			0
	空気環境測定等			0
				0

事務費		1, 612, 280	2, 233, 473	▲ 621, 193
電話代		300, 000	297, 489	2, 511
事務用品		750, 000	814, 624	▲ 64, 624
雑費		562, 280	1, 121, 360	▲ 559, 080
修繕費		160, 000	136, 430	23, 570
ガラス修繕		60, 000	0	60, 000
掲示板等修繕		100, 000	136, 430	▲ 36, 430
				0
備品購入費（５万円以上の物品）		70, 000	0	70, 000
				0
				0
				0
租税公課		160, 000	149, 296	10, 704
源泉徴収税		160, 000	149, 296	10, 704
				0
				0
その他		100, 000	279, 255	▲ 179, 255
賠償責任保険保険料		70, 000	68, 920	1, 080
諸会費等		30, 000	210, 335	▲ 180, 335
施設運營業務支出合計		19, 092, 280	19, 091, 063	1, 217
２．事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3, 750, 000	3, 644, 644	105, 356
交流事業		1, 200, 000	1, 187, 469	12, 531
貢献事業		1, 275, 000	1, 244, 868	30, 132
育成事業		1, 275, 000	1, 212, 307	62, 693
				0
				0
サロン運営・活用事業費		0	0	0
〇〇事業				0
〇〇事業				0
〇〇事業				0
その他 事業実施業務繰越		0	0	0
事業実施業務支出合計		3, 750, 000	3, 644, 644	105, 356
当期支出合計		22, 842, 280	22, 735, 707	106, 573
当期収支差額		0	995, 582	995, 582

令和5年度 事業報告書 岡崎いきいき市民活動センター



【指定管理者：特定非営利活動法人 音の風】



1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、センター長代行 1 名、職員 9 名（常勤 1 名、非常勤 8 名）

【人材育成の取組】

- ・OJT 研修
- ・いきセン合同研修

(2) 貸館等

ア 利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比
R4	185	162	178	134	126	151	147	128	117	113	125	138	1,704	79.07%
R5	130	128	126	136	128	143	133	124	122	116	130	149	1,565	91.84%

(年間) 1,565 件（前年度比 91.84%）

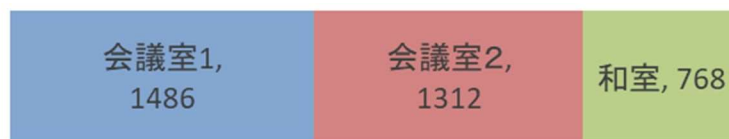
イ 利用状況

①年間での利用状況について、傾向

令和 5 年、コロナ禍の影響が落ち着きを見せ、新規利用登録も 51 件あった。利用増を期待した一方で、利用件数の表を見ると前年比 91.84%という結果になった。7 月～3 月で比較すると、R4 年度が 1179 件、R5 年度が 1181 件とほぼ同件数で、4 月～6 月の減少が激しい。前年度 100 円の時の駆け込みでの申込が原因と考えられる。

②課題や改善

- ・会議室に比べ、和室の利用率が低い。



会議室 1 : 1486 時間 会議室 2 : 1312 時間 和室 : 768 時間 合計 : 3566 時間（有料利用のみ）

- ・夜の時間帯の利用が低い。



午前（10-13）1255 時間、午後（13-17）1903 時間、夜間（17-21）408 時間（有料利用のみ）

○改善

新たな利用者を狙い、平日夜の利用促進を目的としたアトリエ企画「ふらっとアトリエ」を実施し、8 月・9 月の夜間を中心に、アート制作で使う学生グループの利用が 118 時間あった。この企画のみならず、夜間利用増を目指し積極的に情報発信を行いたい。

ウ 利用促進に向けた取組【センターで取り組んだこと】

①設備・備品の充実

- ・和室にマットの設置。
- ・会議室 1 のブラインドを、新しいカーテンに交換した。
- ・会議室 1 にフリーWi-Fi を設置した。（分室にはすでに京都 Wi-Fi を設置済み）

②サークルの立ち上げ

地域の老人会の健康麻雀教室の相談を受け、道具の相談から、老人福祉センターに講師

の問合せなど立ち上げまでのサポートを行い、定期的な開催につなげた。

(3) 情報発信等

ア 取組実績【SNS 等広報媒体により、情報発信に積極的に取り組んだ事例】

- ・ HP、Facebook、X（旧ツイッター）と 3 つの SNS を情報発信の特性に応じて分けている。HP は基本情報のほか、新規利用者の登録がスムーズに進むように登録用紙や利用規約をダウンロードして記入できるようにしている。新規利用について電話で問い合わせがあった際は、来館しなくても登録できるように利便性を高めている。
- ・ これから行う事業の告知と、終了した事業を報告している。報告ページを活用して、今までの事業成果のアーカイブとしても使っている。
- ・ Facebook では事業の報告、X は日々のニュースや、他のセンターや近隣施設のポスト、そして助成金情報などのリポストなどを日々気軽におこなっている。X は昨年より頻度を上げほぼ 1 日に 1 回程度、今までのポストは 3,487 件（4/20 現在）当センターのフォロワーも徐々に増加し 4/20 の時点で 806 人となった。
- ・ 紙媒体として、地元町内会対象に「岡崎いきセン便り」を作成し回覧している。また、主にいきセン利用者向けに「岡崎いきいき新聞」を季刊で発行している。そこで、事業のお知らせや活動報告のほか、サークルでの入会募集なども行っている。

イ 取組の効果

- ・ 市民活動の告知拡散の協力の、インスタグラムのみで宣伝しておられた手話マルシェの開催について X で発信したところ、メディアからの問合せがあり、広報の協力につながった。
- ・ 新規利用者に当センターの利用のきっかけをアンケートしたところ、SNS での検索という回答が 23%あり、センターのことを知ってもらうきっかけになっている。

(4) 管理運営

京都市との協定書及び仕様書に基づき、適切に管理運営を行っている。

防火管理者の講習は 2 人のスタッフが受けている。

業者による、建築設備、消防設備の保守点検を受けた。年に 2 回のワックスがけ等の清掃業務もしている。植栽等は高木に関しては植木屋さんに整えてもらっている。他、普段の清掃、保守管理、草花の植栽はスタッフにより実施している。

(5) その他

「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」

- ・ 利用者に快適な利用環境を提供するために、古い畳だった和室にマットを敷いて快適にした。また会議室 1 の壊れたブラインドもカーテンに取り換え、落ち着いた雰囲気になった。定期的なピアノの調律も行い、毎日の掃除も徹底し施設と設備のメンテナンスを適切に実施した。
- ・ 地元密着型公共施設として地域とのパートナーシップを強化し、小回りを利かせた活動で地域団体との協働をすすめている。地元と利用者のニーズに合わせたサービスの提供を行っている。
- ・ 地域住民や利用者が自主的にプログラムを企画し、実施することができるよう、会議の場を提供し、持続可能で健全な運営を目指して意見や要望を聞きながらサポートしている。地域の団体や左京区役所との連携を強化しており、ともに進化していきたい。

2. 市民活動支援・活性化事業 *岡崎いきいき市民活動センターは、すべて市民活動支援活性化事業

【事業名】市民活動自立自走事業 相談・育成事業

1 事業の概要

	業務内容	詳細内容	日時	場所	人数	協力団体等
①	センター利用 団体活性化	ヨガ・体操 サークル活 性化	4月、5月	当センター	5団体	
②	センター周辺 施設に出演者 コーディネー ト	ア)子育て支援 イ)区役所 ウ)保育園	ア)7/8 イ)9/24 ウ)3/13	ア)どんぐり 広場 イ)左京区役 所 ウ)てをつな ぐあおき保 育園	ア)出演5名+観 客20名 イ)出演10名+ 観客200名 ウ)出演5名+観 客20名	イ)左京区地 域力推進課
③	ロームシアタ ー京都出演者 コーディネー ト	「ローム・ス クエアライ ブ」に地域団 体・当センタ ー利用者コー ディネート	9/30、 10/1、10/7	ローム・ス クエア（ロ ームシアタ ー京都中 庭）	出演団体 9/30:5団体 10/1:6団体 10/7:4団体	ロームシア ター京都、 岡崎学区自 治連合会、 近隣の小中 高等学校等
④	ドラムサーク ルグループサ ポート	事業終了後に 始動したドラ ムサークルグ ループのサポ ート	エ)11/2 オ)12/2 カ)1/27	エ)当センタ ー オ)錦林児童 館 カ)あおい苑	エ)出演7名+参 加者20名 オ)出演5名+参 加者16名 カ)出演4名+参 加者27名	岡崎学区社 会福祉協議 会、錦林児 童館、あお い苑
⑤	センター大交 流会「岡崎い きセンサーク ル見本市」	センター利用 者による、 様々な発表会	2024/2/12	当センター	出演団体15団 体	
⑥	おでかけレコ ードを聴く会	老人福祉セン ターでのレコ ードを聴く会	2024/2/29、 3/28	東山区老人 福祉センタ ー	2/29:12名 3/28:19名	東山区役 所、東山区 老人福祉セ ンター
⑦	ボランティア 活動立ち上 げ、グループ の活性化	キ)補助金申請 案内 ク)NPOのセミ ナーサポート ケ)老人会のサ ークル立上げ	キ)4月 ク)5/15、 5/29 ケ)12月～3 月	全て当セン ター	キ)2名 ク)NPOセミナー 参加者20名 ケ)麻雀教室20 名×4回	
予算： 860,000円 / 決算： 779,403円						

2 事業内容

①センター利用団体、ヨガ・体操サークル活性化

体操・ヨガを特集としたチラシを作成し、新規メンバーを募集した。

②センター周辺施設出演者コーディネート

ア)多国籍アカペラグループ「KYOPELLA」×子育て支援「どんぐりひろば」at 本福寺 お楽し
みコンサート

イ)子どもコーラスグループ「Comodo」×左京区ふれあい祭り オープニングアクト

ウ) ママさんアカペラグループ「錦林アカペラサークル」×あおき保育園 義援金募金ミニコンサート

③ ロームシアター京都「ローム・スクエアライブ」地域団体・当センター利用者コーディネート(地域団体には下線)

9/30: あおい苑、白河総合支援学校音楽部、錦林児童館、文教中高ダンス部、杜のしらべ・チャオリーナ

10/1: 歌って健康コーラス、岡崎女性会民踊部、夢街道、Comodo, キャナリアンヴォイセズ、岡崎リトルポップスターズ

10/7: 岡崎中学校吹奏楽部、シャイニングスターズ、岡崎幼稚園、岡崎いきセンドラムサークル

④ ドラムサークルグループサポート

事業「ドラムサークル」の4回の講習でドラムサークルグループ「Kyo 響 Beat」が始動し、活動先へのコーディネートやサポートを行った。

エ) 11/20: 岡崎学区社会福祉協議会「いどばたサロン」

オ) 12/2: 錦林児童館

カ) 1/27: 障がい者施設「あおい苑」

⑤ センター大交流会「岡崎いきセン サークル見本市」

センター利用者等が、体操、歌、蓄音機の実験、中国語会話等様々な発表を行った。

⑥ 「おでかけレコードを聴く会」

当センターのレコードを聴く会サークルメンバーが、持ち運びできるプレーヤーやスピーカーを持って、東山老人福祉センターでレコードを聴く会を行った。

2/29: アメリカのルーツを聴こう、3/28: ジャズで聴く懐かしの映画音楽特集

⑦ ボランティア活動立ちあげ、グループの活性化

キ) 外国ルーツの方への日本語教室を希望しておられた方と、外国人への病院などへの付き添いなどのサポートを考えておられた方を引き合わせ、相互に活動を紹介して補助金申請の案内を行った。

ク) 特定非営利活動法人京都安心支援機構の、終活と詐欺のセミナーサポート。セミナー開催相談への内容、チラシ作成に関するアドバイスをを行った。(添付チラシ参照) またセンター利用者にもセミナー参加に向けて積極的に声をかけた。

ケ) 岡崎地域老人会「錦寿会」の活動支援。新クラブ「健康麻雀教室」立ち上げの相談、立上げサポートを行った。他のいきセンや左京区老人福祉センターの健康麻雀クラブに問合せをしたり、立上げ準備や講師派遣の相談を受けて、定期的に行うことができるようにサポートした。

3 準備段階での工夫

② 周辺学校等に出演に関して、秋・冬のイベントでも学校行事等が決まる春から調整をはじめた。

④ ドラムサークルグループが自立できるように、一部のリーダー、調整役メンバーに過度に負担がかからないようにサポートした。

⑤ 交流会で、自然と参加者による交流が行われるよう、自分たちの出演時間以外は、各団体から他の出演者の準備、司会、片付などをするように設定した。

⑥慣れた当センターではなく、機材もない外部会場で市民企画者が普段通りの活動ができるようにサポートした。

⑦ケ) 麻雀台の選定や、初心者への講師の派遣相談など、老人会役員の方と何度か打合せを行い、開催に向けてサポートした。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

当センターの利用者、グループの活動の立ち上げ、活性化をはかり、市民活動グループの自立自走を目指す。またグループの活動活性化を促進することで、貸館利用の拡大も狙う。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・区役所や市民活動総合センター、また地域の公共施設との連携が深まった。
- ・利用者や地域団体を市民活動につなげることができた。
- ・コロナ禍で、発表の場を失っていたサークル活動を活性化することができた。
- ・得意分野を活かしたボランティア活動を提案することができた。
- ・イベント開催や新規加入者でサークル活動が活性化した。
- ・一般市民にセンターの取組みを周知することができた。

○アンケート結果より

⑥おでかけレコードを聴く会 東山老人福祉センター参加者より

Q 当講座はいかがでしたか？

とても良かった…12 よかった…2 普通…0 あまりよくなかった…0 無回答…0

Q 感想やご要望をお書きください。

A・久しぶりにゆったりした気分で音楽を聴けました。又参加したいです。

A・演歌歌手を含めた幅広いジャンルで、映画音楽・ジャズを取り上げられたのは素晴らしいと思います。

A・自分は自宅で聴いたりしていますが、私の持っていないレコードばかりとってもうれしいです。オカリナの演奏ありがとうございました。

5 今後の抱負

- ・利用者との普段の会話から相談や悩みの元が見つかる。全スタッフで情報を共有しサポートを続けていきたい。
- ・利用者のサークル活動を、児童施設や老人福祉施設、障がい者施設にボランティアに出かける市民活動化を進めていきたい。
- ・新規サークルの立ち上げや利用団体の活動の活性化による貸館利用時間の増加を目指す。

市民活動自立自走事業 相談育成事業



①センター利用団体、ヨガ・体操サークル活性化
体操体験会



②センター周辺施設出演者コーディネート
アカペラグループ、お寺でお楽しみコンサート



③岡崎パークステージ、地域団体コーディネート
岡崎幼稚園による和太鼓演奏



④ドラムサークル コーディネート
岡崎学区社会福祉協議会「いどばたサロン」で実演



⑤岡崎いきセン サークル見本市 記念集合写真



⑤岡崎いきセン サークル見本市 よし笛体験会



⑥おでかけ「レコードを聴く会」
東山老人福祉センターで



⑦ボランティア活動の立ち上げ、グループの活性化
助成金の説明



⑦ボランティア活動の立ち上げ、グループの活性化
NPO 法人の終活と詐欺のセミナー



⑦ボランティア活動の立ち上げ、グループの活性化
老人会健康麻雀教室 第1回目の様子

【事業名】 市民活動自立自走事業 スキルアップ支援

1 事業の概要

- 1 開催日時：①コミュニケーションのコツ講座 2024/3/20(祝・水)13:30-15:00
②手書きポスター講座 2024/3/23(土)10:30-13:00
- 2 開催場所：岡崎いきいき市民活動センター
- 3 参加人数： ①20名 ②14名
- 4 予算： 100,000円 / 決算： 96,158円

2 事業内容

①コミュニケーションのコツ講座

- ・コーチングの手法を取り入れたコミュニケーションに関する講義(約30分)
- ・4、5人のグループワーク(約30分)、(5分×4人) テーマ「この1年間で頑張ったこと」等を話す人と、残りは話をしやすい雰囲気を作る聞き役になる練習。
- ・感想共有と質疑応答(約30分)

参加者は10代から80代まで幅広い年齢層で、その半数以上がセンター事業初参加だった。グループワークでは、講師から提示されたテーマに沿って「話す側」「聞く側」の役割を体験し、コミュニケーションに対する理解を深めた。

②手書きポスター講座

- ・ポスター作りのポイントやコツに関する講義(約30分)
- ・参加者による手書きポスター作成(60分～100分)
持参した写真やイラストを使い、講師のアドバイスを受けながらポスターを作成した。

3 準備段階での工夫

- ・コミュニケーションのコツ講座では、センター利用者のみならず外部からの申込も多かった中で性別や年代などを参加者に聞き、幅広い対象者に対応できる講義をお願いした。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ①様々な参加者が想定されるサークル活動の円滑な運営。
- ②メンバー募集やイベントを想定したポスターの作成。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ①「聞くスキル」を学ぶことで、初対面の参加者同士であってもコミュニケーションが円滑に行われることが実感され、今後のグループ活動活性化への効果が感じられた。
- ②講師のアドバイスにより、手書きポスターならではの温かみのあるポスターが完成した。
この経験を活かし市民活動やサークル活動の積極的な情報発信につなげることが期待できる。

○ アンケート結果

- ① 1.大変良かった8 2.良かった9 3.普通1 4.あまり良くなかった0 5.良くなかった0
- ② 1.大変良かった8 2.良かった4 3.普通1 4.あまり良くなかった0 5.良くなかった0

5 今後の抱負

- ①今回のように利用者からの要望が高いスキルアップ企画を考えていきたい。
- ②ポスター講座の継続的な希望もあり、今後も利用者のスキルアップを考えていきたい。

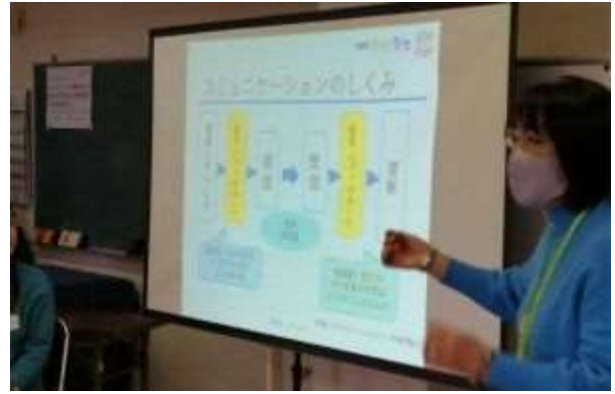
.市民活動自立自走事業 スキルアップ事業

①コミュニケーションのコツ

2024/3/20 (祝・水) 参加者 20 名



10代から80代まで20名の受講者が参加



講師より、パワーポイントを使って説明



4, 5人でのワークショップ、しゃべる、聴くを交代で



話の感想を「ほめて」伝えるワークショップ

②手作りポスター講座

2024/3/23(土) 参加者 14 名



講師より実例をみながら説明



中央の作業台に自由に使える素材が置かれている



作品例：手話サークル



ラミネートして貼られるポスター

【事業名】 市民活動自立自走事業 まちあるき&手作りマップ1

1 事業の概要

- 1 開催日時：令和5年8月14日(月) まちあるき
- 2 開催場所：岡崎公園周辺
- 3 参加人数：地域の大人2人、錦林児童館の子ども5人、児童館スタッフ3人
- 4 協力団体等：岡崎学区民生委員、錦林児童館
- 5 予算：77,000円 決算：70,472円

2 事業内容

【実施目的】 地域、まちの魅力を再発見し、地域への関心や愛着を深める。

【実施内容】

児童館の子どもと地域の大人で2グループに分かれ、二条通を挟んで北側と南側を探索した。

センターに戻り、大きな地図に発見したことを書き込んだ。

子どもたちの取材記事をもとにセンタースタッフで地図を作成した。

出来上がった地図はセンターのHPで紹介した。

3 準備段階での工夫

令和4年度から児童館と日程やまちあるきの場所について打合せを行ってきた。児童館は常時100人以上の子ども達が在籍するので、参加者が少ないであろうお盆休みを設定した。

参加人数が多かった場合、地元の大人ガイドとして民生委員の方々の協力を得られるよう依頼した。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・ 地域の大人と子どもで一緒に歩き、まちの魅力を再発見し、地域への関心を高める。

(2) 事業実施による目標の達成度

実際に歩くと近くに住んでいても知らない場所を沢山見つけられ、地域への愛着が深まった。

5 今後の抱負

子どもたちからシニアまで世代を超えた交流と地域への関心や愛着を深めるために、地域でのまちあるきを計画していきたい。



出発前に取材ノートの書き方の説明



岡崎公園までの道のりから川を見ながら昔話を聞く



岡崎公園で2班に分かれて取材



子どもたちからは一人ずつ取材した内容の発表



完成した岡崎公園探検マップ

【事業名】市民活動自立自走事業 まちあるき&手作りマップ2

①ギャラリー巡り ②いきセン周辺飲食店マップ

1 事業の概要

- 1 開催日時：①令和5年12月2日(土) ②募集 令和5年11月～1月
- 2 開催場所：①神宮道周辺ギャラリー ②当センター周辺
- 3 参加人数：①ギャラリー巡り 12人 ②14人
- 4 協力団体等：①センター周辺ギャラリー
- 5 予算：223,000円 決算：212,480円

2 事業内容

【実施目的】

地域、まちの魅力を再発見し、地域への愛着を深める。作成した地図から街の魅力を積極的に発信する人材を育成する。

【実施内容】

- ①アーティストの講師とともにギャラリーを巡り、作家やギャラリーオーナーに取材をした。
参加者はセンターに帰って、ギャラリーの印象、取材内容を発表し、話あい記事をまとめた。
記事を元にセンターでマップを作成。出来た地図はセンターHPで紹介するとともに、印刷して配架した。また、ギャラリーに地図を置き活用している。
- ②センター周辺の飲食店情報を利用者から収集した。
情報をもとにセンタースタッフで地図を作成し、出来上がった地図はセンターHPで紹介するとともに印刷して配架した。

3 準備段階での工夫

- ①ギャラリーの『取材とレポート』とチラシに掲載し、大仰に捉えられたためか申込が伸び悩んだ。広く積極的に声をかけると共にレポートがメインではないと説明し参加者を増やした。

4 事業実施による効果・達成度

- ①講師と共に取材することで、作家やオーナーから話を聞き出すことができ、各ギャラリーの特徴や雰囲気が伝わる地図を作ることができた。岡崎地域の魅力に深く触れ、地域への愛着が深まった。

【アンケート】本日の講座について、全体的な感想はいかがでしたか？

1 とても良かった 11人 2 よかった 1人 3 普通 0人 4 よくなかった 0人

- ②利用者の中でも、地域の方が紹介するお店と市内からの利用者の紹介する店など、バラエティ豊かな店が集まり、センター利用者の話のきっかけにもなっている。利用者にとっても必要な飲食店情報を提供できるとともに、サークル終了後の喫茶店でのメンバー交流などにも活用されている。

5 今後の抱負

- ①ギャラリー巡り参加者が、様々なアート作品などを情報発信できる市民ライターになる仕組みを考えていきたい。
- ②今後も、利用者より情報提供を受け新たに飲食店情報を追加し、地図を更新して、地域の魅力発信につなげていきたい。



講師とともに巡り、滞在中の作家やギャラリーオーナーに、作品やギャラリーのことについて取材する。



説明を受け、まとめ、センターに帰ってから担当ギャラリーについて発表する参加者。

右) ギャラリーマップ



下) 岡崎いきいき市民活動センター
ご近所飲食店マップ



【事業名】 市民活動自立自走事業 まちあるき&手作りマップ3 パン屋マップ編

1 事業の概要

- 1 開催日時：令和6年2月23日（金・祝）13時～15時
- 2 開催場所：みずき寮：京都府留学生寮（左京区吉田近衛町 26-88）
- 3 参加人数：19人（内留学生5名）
- 4 協力団体等：みずき寮
- 5 予算：80,000円 決算：80,199円

2 事業内容

【実施目的】

地域、まちの魅力を再発見し、地域への愛着を深める。作成した地図から街の魅力を積極的に発信する人材を育成する。

【実施内容】

参加者は各自オススメのパンを購入持参し、パン屋やパンの魅力をプレゼンした。

参加者が写真を撮ってインスタグラムなどのSNSに投稿した。

プレゼン後、パンの試食を行い、参加者間で意見交換や交流をした。

参加者が紹介したパン屋さんの位置を地図に書き込んだ。

出来上がった地図はセンターのHPで紹介した。

3 準備段階での工夫

各人が持ち寄るパン屋の情報を事前に聞いて地図に書きこんでおき、当日スムーズに進めるように段取りをした。

4 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・身近なパン屋を通して、まちの魅力を再発見する。
- ・作成した地図を活用しパン屋巡りにつなげる。

（2）事業実施による目標の達成度

パンを通じて、市民や留学生の間で店の情報交換など話がはずみ、魅力を発信する人材育成の一步となった。

地図を片手に左京区のまちに出かけたいという参加者もいて、地域への愛着が深まった。

【アンケート】 本日の左京区パンマップ作りに参加していかがでしたか？（有効回答 16）

1 とても良かった 14人 2 よかった 1人 3 普通 0人 4 あまりよくなかった 0人 5 良くなかった 0人

5 今後の抱負

今回作成したパンマップを活用し、新たに左京区に関わりのある留学生や学生に街の魅力を伝えていきたい。また、今回の参加者がガイドになって市民に向け案内するなど、情報を発信できる市民活動につながる動きを考えていきたい。



購入したパンをプレゼンする参加者



パンに詳しい講師よりパン屋さん、パンの補足情報



若いメンバーによる SNS 投稿、パンの写真を撮る



集合写真 そしてパンの試食と歓談

完成したパンマップ 配布及び SNS で投稿

地図を片手に、左京区のまちを楽しみ、おいしいパン屋を巡ってみませんか！

左京区パンマップ 2024

1. 住所 2. 電話番号 3. 営業日

作成日: 2024年3月

このマップは、2024年2月23日に開催した「左京区パンマップ作り」事業で市民参加者が持ち寄ったパンと情報をもとに作り上げた。会場のみずき寮は留学生寮で、留学生からもパン情報が集まっています。この地図に載っていない素敵なお店もまだ沢山ありますが、まずは地図を片手に左京区のまちを楽しみ、まちの魅力を伝え、その魅力を地域に発信してもらうためのパンマップとして作成しています。パン屋情報ですが、マップ作り参加者のパン屋がふみれる範囲と最良の意見であることに基づき作成しました。

①吉田パン工房 1. 左京区鞍馬鞍馬町2-2 アルファ イアビル1F 2. 075-712-7233 3. 全休日 8:00-14 週末は計開いている大人気店。レストランに併設していて、営業に合うパンが多い。カンパニーは種類が多い。肉、魚、ワインに合う。佐賀者オスミのパンは、レーズンとくるみがたっぷり！	②ぱんのちばれ 1. 左京区一乗寺南大丸町45-5 2. 075-703-8710 3. 全休日 10-19 店主の方が面白い。食パンは太白粉を使ってもっちり、しっとりとした食感。小豆とサツマイモが入ったパンは、固い生地の中にも、あんこではなく、粒の小豆とサツマイモが詰まってる。季節限定で出る生地の生地もずいぶん多く食べ応え満点。	③Les bl's d'or 1. 左京区下鴨南町33 2. 075-706-2810 3. 全休日 8:00-19 焼菓家は昔ながらのロワッサン作り。チャレンジしたほどロワッサンが好き。デニッシュも人気。素材にこだわっている。ロワッサンは毎日あるのではなく、余った生地があるときに作られるそう。	市自家製酵母のパンの店 はちばち 1. 左京区下鴨南町3-12 2. 075-708-7888 3. 全休日 11:30-18:30 2009年に西陣で開業していたはちばちはインフィニティから、2016年に移転。ドイッのパンを中心に、店主1人のお客。京都在住の外国人のファンも多い。今日は食パン、ライ麦、75%、小麦、25%のライ麦パン。上にかまぼこの種が載っている食べやすい。甘味ジャムとジャムもとても多い。
④手作りパンの店 ポエット 1. 左京区中太夫町41-3 2. 075-711-3334 3. 全休日 7-18:30 スキヤク、YUKI 店名にある、ご夫婦で営まれているアットホームな小さなパン屋。ご主人は元々おいしいケーキ店でお勤めであったが、ケーキはおいしいけれど毎日食べられるものではないので、パン屋になられたそう。参加アンケートでは大に好評！	⑤マルホーパリー タカラダ 1. 左京区中太夫町42 2. 075-711-4528 3. 全休日 8:30-11 非公開、YUKI 京大稲荷にあり、かつては老舗で営まれていた町に愛されているパン屋。どれも豊かなパンでロワッサンのファンも多い。種パンは食べるとしっとり小豆の味が口に残る。カンパニーはパンとバスから500円という大変お得なセットもあり。	⑥やまだベーカリー 1. 左京区上寺下馬場町37 2. 075-771-5343 3. 全休日 8-15 西沢 月夜、YUKI 1947年創業、現在3代目の店主が営んでいる老舗。お店からのお知らせ山田さん(には、「東京シーズ」の星パン屋主のちに法人化)の新しい記事！ レナモンロールは、白いアイシングも甘すぎずシナモンシナモンがのりもおいしいパン。朝8時から開いているので、早朝からパンを食べたい時に嬉しい。	
⑦学校 1. 左京区上寺下馬場町2 2. 075-771-7550 3. 全休日 7-19 留学生Za. 留学生Za.	⑧白河総合支援学校MilkyWay 1. 左京区鞍馬鞍馬町2-2 2. 075-771-5510 3. 土曜祝日 10-15(両パンの販売なし) 民衆の一端として、校内でパンの製造と販売。生徒自身がコーヒーマシンで焙煎した米粉の米粉パンも販売。とてもおいしいパンが買える。知る人ぞ知る大層！	⑨カツソー 1. 左京区鞍馬鞍馬山町43 2. 075-888-8888 留学生Za. 留学生Za.	

【事業名】文化芸術交流連携事業 社会包摂とアート 福祉ドラムファシリテータ養成講座

1 事業の概要

- 1 開催日時：令和5年9/18、9/23、10/1、10/7 時間は13～17時
- 2 開催場所：当センター、10/7はロームスクエア（ロームシアター京都中庭）
- 3 参加人数：講座参加者19名
- 4 協力団体等：株式会社ビートオブサクセス、ロームシアター京都
- 5 予算：815,000円 / 決算：796,850円

2 事業内容

【実施内容】

- ・打楽器を通じた福祉活動や企業研修を行っているビートオブサクセスより講師を招き、講義と実技を学んだ。
- ・最終日の日に、ロームシアター京都主催のロームスクエアライブに出演し、一般参加者を巻き込んだドラムサークルを実施した。その中で受講生がファシリテーターとなり進行役を体験した。
- ・参加者の中からドラムサークルクラブを立ち上げ地域活動へ向かうよう取組む。

3 準備段階での工夫

東京より講師やスタッフを招聘することもあり、事前にZOOMで入念に打合せを行った。

4 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

文化芸術を通して地域福祉に貢献する人材の育成を行い、地域への派遣を行うことを目的とする。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・ロームスクエアライブで、講師が行うドラムサークル体験だけでなく、受講者も実際にファシリテーターとして関わり実践を行うことができた。受講者は参加者側の体験とともに、ファシリテーターを体験したことで、ドラムサークルの持つホスピタリティの精神とファシリテーターの実践の意義を体感することができた。
- ・ロームスクエアという屋外で、不特定多数の参加者に対してドラムサークルを開催したことで、ドラムサークルへの関心、ひいては当センター事業の周知につながった。
- ・短期間で受講生の中でつながりが生まれ、ドラムサークルクラブが立ち上がり、今後地域活動を行うことが決まった。

【アンケート】自由記述より一部抜粋

講師の方の長い経験からの理論を、実技を見た後で聞いたのでとても実感できました。一見自由なようであっても深いメソッドに裏打ちされた型があり、また型がありながら生きた時間を共有することの大切さを教えてもらった気がします。

5 今後の抱負

今年度、結成は難しいと当初考えていた受講生によるドラムサークルクラブが立ち上がった。しかし一部の受講生の負担が大きくなっている。次年度も継続開催して、メンバーを増やし、ボランティアとして積極的に地域福祉に貢献するメンバーを増やし、安定的なドラムサークルクラブの活動が動き出すまで伴走しながら支援を継続していきたい。

社会包摂とアート 福祉ドラムサークルファシリテータ養成講座

9/18, 9/23, 10/1 岡崎いきいき市民活動センター 10/7 ロームシアター京都 ローム・スクエア



輪になってドラムを叩くドラムサークル



参加者が空き缶、筒などで音が鳴るものを作成



ドラムサークルの第1人者の講師による実演と講義



講義の一部 スライドを見ながら



参加費で購入したシェイカーによる、ワーク



10/7(土)ロームスクエアにおけるドラムサークル



10/7(土)子どもや一般参加者も楽しそうに参加



センターに帰ってから本日の活動の振り返り

【事業名】文化芸術交流連携事業 社会包摂とアート カメラ

1 事業の概要

- 1 開催日時：撮影&ワークショップ令和5年6月25日 10:15～15:15
HP および屋外展示期間：令和5年6月25日～7月9日
- 2 開催場所：撮影：岡崎公園、平安神宮等 ワークショップ及び展示：当センター
- 3 参加人数：講座参加者14名（ヴァリアスコネクションズ利用者5名、関係者4名、一般参加者5名）
- 4 協力団体等：一般社団法人 ヴァリアスコネクションズ
- 5 予算：140,000円 / 決算：139,738円

2 事業内容

【実施目的】

写真撮影を通じて交流を深め障がい者理解を促進し、市民活動への気づきへつなげる。

【実施内容】

障がい者福祉事業所「ヴァリアスコネクションズ」が定期的で開催している、「だれでもカメラ部」に参加してデジカメで写真を撮った。作品はHPで掲示およびワークショップでラミネート加工した後屋外展示した。

- ・福祉施設でのアート活動について話を聴いた。
- ・全員が作品を発表し、感想を共有した。
- ・展示は参加者全員で協力して行った。

3 準備段階での工夫

障がいのある方に負担増にならないように、撮影とワークショップ展示も昼食休憩を入れながら余裕を持ったスケジュールで設定した。

4 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

一緒に写真撮影をする、ワークショップをすることによって障がい者の方とゆるく交流する。

（2）事業実施による目標の達成度

公園での撮影時間、撮った写真を互いに説明し感想を共有する時間、展示をするために写真を並べる作業などの間、参加者間に自然な交流が生まれ障がい者理解が促進された。

【アンケート】

1.大変良かった 10人 2.良かった 2人 3.普通 0人 4.あまり良くなかった 0人 5.良くなかった 0人
自由記述より一部抜粋

- ・写真に正解はなく、否定がないイベントだったのでとても良かった
- ・構図や色、他の人の作品と並べてみてわかる色の楽しさやら、写真を撮ることで始まるのがたくさんあるなあと思いました

5 今後の抱負

アートとしての写真作品に関して言えば、作品は障がい者も一般参加者も関係なく個人の感性や技量による。企画の主旨が伝わりにくく、一般参加者確保が課題であるが、アートイベントとして広く広報し、障がい者理解から市民活動へとつなげていきたい。

社会包摂とアート カメラ
令和5年6月25日

ヴァリアスコネクションズだれでもカメラ部1日入部



普段のヴァリアスコネクションズの活動の説明



岡崎公園でいったん集合写真



公園周辺で撮影対象を探索



参加者作品「鳥居と空」



センターに戻り、写真の解説と感想共有



ワークショップ、写真を選び張り出し



全員で展示作品を並べて掲示



作品を2週間掲示

【事業名】 地域連携事業 わいわい文化祭

1 事業の概要

- 1 開催日時：①わいわい文化祭開催日：令和 6 年 2 月 3 日(土)13:00～16:30
②会場スタッフ会議：令和 6 年 1 月 11 日(木) ③出演者会議：令和 6 年 1 月 18 日(木)
④実行委員スタッフ会議：令和 6 年 1 月 24 日(水)
- 2 開催場所：京都市国際交流会館メインホール、ホワイエ
- 3 参加人数：約 500 名（内 11 出演団体約 250 名）
- 4 協力団体等：岡崎自治連合会、京都文教中学・高等学校、岡崎中学校
- 5 予算：355,000 円 / 決算：345,460 円

2 事業内容

①わいわい文化祭：

- ・岡崎地域の福祉施設、教育団体機関等が連携し、歌や踊りの発表を行った。
- ・写真展、地域に関わる小学生から地域で活動するアーティストの作品の展示をホワイエで同時開催した。

②会場スタッフ会議：実行委員長と会場スタッフで当日の会場での動きを話し合った。

③出演者会議：実行委員長と出演代表者で打ち合わせし、当日の動きの確認と調整を行った。

④実行委員スタッフ会議：スタッフとなる岡崎地域住民が集い、実行委員長の指示のもと、各業務担当の確認と当日の動きの打ち合わせを行った。

3 準備段階での工夫

- ・実行委員の事務の効率が上がるように PC 操作のアドバイスをした。
- ・多くの人がこのイベントに関われる仕掛けを作るため、地元作家に声掛けをしてホワイエの絵画展示につなげた。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ①岡崎自治連合会を中心として岡崎地域の福祉施設、教育団体機関等の連携のもと文化祭を開催する。②地域担い手に繋がる実行委員の育成。③当文化祭の自立自走に向けてのサポート

(2) 事業実施による目標の達成度

- ①企画から当日の運営まで地域住民の連携のもと文化祭を開催する事ができ、地域活動の活性化への自立的な活動ができた。②実行委員の PC スキルの向上により、資料や広報物がスムーズに作成できるようになった。③ホワイエでの催し物では、作品展で地域の魅力を伝えるとともに、地域住民の交流の場づくりができた。

【参加者、出演者へのアンケート】

- ・わいわい文化祭の良さは？：自治体単位でこのような文化祭ができる 64 名、地域の複数の団体が出ている 71 名、地域の複数の団体が出ている 71 名、国際交流会館で開催 30 名、無料で出演・入場 70 名、地元に近い場所で開催 53 名 その他 1 名

5 今後の抱負

- ・実行委員に高齢のスタッフが増えてきたこともあり、会場内での業務に負担の無いよう、担当の持ち場の調整をしサポートしていきたい。
- ・実行委員がさらに自立的に動けるよう、引き続き自走化に向けて育成に力を入れていきたい。

地域連携事業 わいわい文化祭

令和6年2月3日



わいわい文化祭開演 1 番目は地域の子も達によるお琴演奏



会場は地域の方々と満席となった



ホワイエでは地域の方々の作品展示が行われた



受付の対応を行う地域の実行委員スタッフ



地域の消防団が駐輪場の管理を行う



終演後は実行委員スタッフで集まり反省会を行う



会場スタッフ会議では国際交流会館にて当日の動きを話合った



出演者会議では各出演者代表同士で集まり当日の動きを確認した

【事業名】文化芸術交流連携事業 レコードを聴く会 2023

1 事業の概要

- 開催日時：①レコードを聴く会：4/22、5/27、6/24、7/22、8/26、9/2、9/23、10/28、11/25、12/23（R6）1/27、2/24、3/23（14:00～15:30）②企画者交流会（レコ祭り）：3/9（14:00～16:30）③お出かけレコードを聴く会：2/29、3/28（10:00～11:30）
- 開催場所：①②当センター和室、③東山老人福祉センター
- 参加人数：①4/22：16名、5/27：13名、6/24：17名、7/22：16名、8/26：30名、9/2：31名、9/23：34名、10/28：23名、11/25：30名、12/23：36名（R6）1/27：24名、2/24：17名、3/23：20名（計330名）②3/9：23名、③2/29：12名、3/28：19名
- 協力団体等：東山区役所健康長寿推進課、東山老人福祉センター
- 予算：260,000円 / 決算：258,975円

2 事業内容

- 毎月1回、レコードを聴く会の開催（9月と3月は2回）
- 年1回の企画者交流会の開催
- お出かけレコードを聴く会の開催
- レコードを聴く会10年の軌跡 冊子作成
- 市民企画者の自立・自走支援
- 新規企画者の育成

3 準備段階での工夫

- ・PCが使えない企画者にもチラシが作れるように手描きで作れるようサポートをした。
- ・会場の受付や片付けも市民主体でできるように参加者に呼びかけをした。

4 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

1. 市民企画によるレコードを聴く会の開催。
2. 画者の自立自走化に向けたサポート。

（2）事業実施による目標の達成度

1. 各企画者それぞれに応じたサポートをし、自立に向けて一歩前進できた。
2. PCが苦手な企画者もチラシをつくれるようになった。
3. 企画者同士が交流できる場を自主的につくるようになった。
4. 長きに渡り継続開催してきたことで、他地域の関係機関（主に東山区老人福祉センター）との連携事業に発展した。
5. 当センターから飛び出し、別の場所でレコードを聴く会を開催することで当会を幅広く周知することができた。
6. 10年間でまとめた冊子をつくり、企画者と参加者とともに当会を振り返ることができた。

【アンケート集計】

- ・9/2：とても良かった…13 よかった…5 普通…1 あまりよくなかった…0 無回答…4
- ・3/23：とても良かった…7 よかった…3 普通…0 あまりよくなかった…0 無回答…0

5 今後の抱負

1. どの企画者も未だ、完全な自立自走とはいかず、自主運営ができそうな企画者から優先的に自立に向けてサポートしたい。
2. 企画者が市民活動に積極的に参加できるよう、別の場所でレコードを聴く会を開催する企画を継続していきたい。
3. 本事業では、企画者の固定化がみられるため、新規企画者のサポートにも力を入れていきたい。
4. 常連の来場者も多く交流も深まっているため、受け身ではなく会のサポートにも一歩踏み出してもらえるよう促していきたい。



4/22：来場者と企画者がレコードに纏わる話題で盛り上がった。



8/26：参加人数もアンケートの評価も高評価の会となった。



9/23：企画者が活動している音楽サークルの演奏を企画に取り入れた。



12/23：招聘講師の会はリピーターが多く人気のある会となっている。



1/27：参加者と企画者との交流により一体感のある会となった。



2/24：新規の企画者の会だったが、スムーズに進行した。



3/9：企画者同士が協力し合い運営。企画者の交流の場となった。



3/28：東山老人福祉センターでお出かけレコードを聴く会を開催。

【事業名】多世代交流事業 岡崎ワールドミュージックフェスタワークショップ

1 事業の概要

1 開催日時：

- ①岡崎ワールドミュージックフェスタワークショップ：10/14(11:00～18:00)
- ②ワールドミュージックを聴く会・フェス事前ワークショップ：5/13、6/10、7/15、8/12、9/9、11/4、12/9、1/13、2/10（全日 14:00～15:30）
- ③対面・オンライン会議（4/15、②の終了後、2/10 以降は SNS でのメッセージなど）

2 開催場所：①ロームスクエア（ロームシアター京都）②岡崎いきいき市民活動センター和室

3 参加人数：①129 人②各回 5～20 人程度③各回 5～15 人程度

4 協力団体等：京都文教大学、ロームシアター京都

5 予算：830,000 円 / 決算：776,568 円

2 事業内容

【実施目的】

- ・大学や岡崎近隣施設、地域団体、市民との連携。
- ・子どもと子育て世代の親、大学生、高齢者との多世代の交流づくり。

【実施内容】

- ①大学や岡崎近隣施設（京都文教大学、ロームシアター京都）、地域団体、市民との連携から生まれたまちのにぎわい作りによる音楽フェス。センターではこのフェス内の大学と岡崎近隣施設と共にワークショップを行う。
- ②ワールドミュージックを聴く会・フェス事前ワークショップ。
- ③フェスに向けた会議。

3 準備段階での工夫

- ・ワールドミュージックを聴く会への参加者を毎月のレコードを聴く会に呼びかけた。
- ・ワールドミュージックフェスタを地域の回覧板などで周知した。

4 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・大学や岡崎近隣施設、地域団体のネットワークの構築。
- ・実行委員の自立自走を目指す。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・①のワークショップに参加した子どもと子育て世代の親と、ボランティアスタッフとして参加した大学生と高齢の当センター利用者との多世代の交流の場が生まれた。
- ・当フェスを通して築き上げてきた地域の繋がりにより協力者が昨年度よりさらに増えた。

【参加者の反応】

- ・当フェスに毎年ボランティアとして参加するサークル団体が増えた。
- ・高齢のボランティアスタッフは孫世代でもあるワークショップに参加している子ども達との交流を楽しんでいた。

5 今後の抱負

- ・まだ交流できていない世代と交流できるように工夫をし、さらに多世代の交流の活性化を目指したい。

多世代交流事業 岡崎ワールドミュージックフェスタワークショップ

- ・岡崎ワールドミュージックフェスタ 令和5年10月14日
- ・ワールドミュージックを聴く会 令和5年4月～令和6年2月



フェスのワークショップの受付



ワークショップ終了後、子どもにアンケートを取るスタッフ



ワークショップで子どもと子育て世代との交流ができた



ワールドミュージックフェスタの会場



大勢の市民が集まり盛り上がりを見せたフェス終盤



月1で開催するワールドミュージックを聴く会



フェス事前にワークショップを開催



実行委員と岡崎近隣施設スタッフや大学生が集まり会議を行った

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和 5 年度実績： 2,374,840 円（前年度比 123% 令和 4 年度：1,931,100 円）

〔 内訳 会議室等：2,161,800 円（前年度 1,807,400 円）
 付属設備：213,040 円（前年度 123,700 円） ※自主事業分を除く 〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

（1）全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和 5 年 11 月実施

【調査項目】窓口サービス

（2）センター独自アンケート

ア）センター独自にアンケートを実施(令和 5 年 11 月実施)

イ）ご意見箱を会議室 1 と分室ロビーに設置（R5 年 11 月より）

ウ）事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

（1）全センター共通窓口サービス

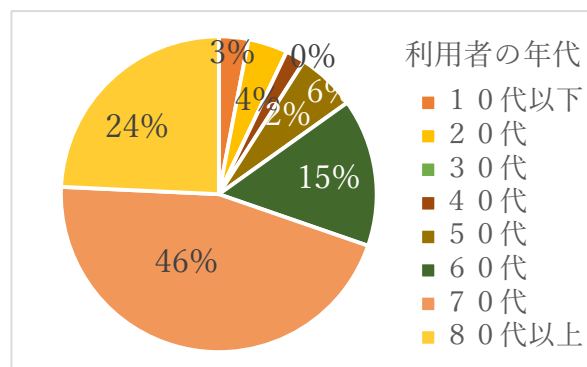
	案内表示は分かりやすかったですか	あいさつやお声がけはきちんとできていましたか	身だしなみは業務にふさわしいものでしたか	表情や態度は感じが良かったですか	言葉づかいや説明は、親切でいてねいでしたか	説明は的確で分かりやすかったですか	整理、整頓は行き届いていましたか
たいへん満足	26.7%	50.0%	39.7%	50.9%	49.1%	48.3%	35.3%
満足	70.7%	49.1%	58.6%	46.6%	50.0%	50.9%	62.1%
不満	2.6%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	2.6%
たいへん不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.9%	0.9%	1.7%	0.9%	0.9%	0.0%

（2）センター独自アンケート

ア)センター独自アンケート(99 枚) 利用者の地域や年代、社会課題などについて

①利用者の年代

10代以下	20代	30代	40代
3	4	0	2
50代	60代	70代	80代以上
6	15	45	24



60～80 代の利用者が 85%を占めている。当センターの利用者は、シニアが中心である。

②センター利用者が感じておられる『社会課題について』、自由記述形式で書いてもらった。

物価高	戦争・平和	居場所・地域	子どもの貧困、子ども食堂	高齢者介護	若者・他世代の生活	その他
6	5	4	3	3	2	4

その他は、犯罪、ジェンダー、環境、未婚率の増加が各 1 人ずつだった。

イ)ご意見箱

1 件：分室の洋式トイレを暖房便座にしてほしいと要望があった。

引き続き利用者からの意見を踏まえ、より良いセンター運営に向けて検討していきたい。

ウ)事業実施時にアンケートを実施

事業報告書に添付している。

3 意見等への主な対応状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

自由記述欄に多かった要望として「会議室 1 のブラインド修理」が多かったため、令和 5 年度末に新しくカーテンを設置した。

(2) センター独自アンケート

年に 1 回、100 名以上の利用者を対象とした独自アンケートや、常時置いているご意見箱で、スタッフへの直接要望しにくいことや、気づかれた点、気になることなど様々な意見を集めている。

その中で、独自アンケートの自由記述欄には「活動に関する運営のやり方講座や資金調達の講座」を希望する意見もあり、今後のセンターで開催する講座として検討していきたい。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

1 取り組んだ事業等の総括の記載

「市民活動自立自走事業」だけでなく、すべての事業において参加者による自主運営や自立自走に向けての支援に取り組んでいる。また、サークル活動でもメンバー募集チラシのアドバイスや、活動先の紹介など活動の発展に尽力している。

事業「地域文化祭」は、今までセンター側で作成していた、出演者へのお知らせや出演者の記入表を、担当者が作成できるようにワードの操作方法などアドバイスして作成できるようになり、自主的な運営の強化につながった。

また、「レコードを聴く会」では市民企画者に、自身で広報をするスキルをつけてもらうよう各人のレベルに合わせチラシ作りのアドバイスを行い、パソコンができなくても手作りチラシを作成し、全企画者がチラシを作成できるようになるなど、自立に向けて着実にスキルアップしている。さらに「レコードを聴く会」からは、ポータブル機材を持って老人福祉施設等にでかける「おでかけレコードを聴く会」や、ワールドミュージックを聴く会などに企画者が関わり、市民活動への積極的な関与が見られた。

サークル活動でも、コーラスサークルのメンバー募集チラシの掲示依頼の際に、チラシ内容に関する改善点をアドバイスするほか、手作りポスター講座への参加を呼びかけたり、ヨガグループのメンバーカード作成やチラシ作成のサポートを行い、活発な活動へつながっている。

自立自走に向けた支援は、個人やグループの状況に合わせてきめ細やかに行う必要がある。センターでは長期に渡る利用者や関係者とのコミュニケーションから臨機に対応ができ、自立自走支援の成果が現れている。

2 今後、解決すべき課題等

【貸館利用者増】

チラシやインターネットを活用し、市民に向け広く周知に努め、新規利用者を増やす努力を続けてきた。その成果として新規の登録者が増えている一方で、定期利用につながらないケースもあり、思ったほど利用者数は伸びていない。

会議室1のカーテンの新調、FreeWi-Fiの設置、また和室のピアノの調律など、快適な環境を整え利用しやすい部屋に努めているが、さらに利用者アンケートやヒアリングなどを通して利用者増につなげていきたい。

3 次年度に向けた対応

次年度も、引き続き事業や支援の内容の充実を図り、さらなるグループの自立自走に取り組む。

施設運営に関しては常勤スタッフからアルバイトスタッフのスキルアップを目指し、研修などを充実させたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項はありませんでした。

京都市岡崎いきいき市民活動センター

指定管理料等に関する収支決算書（令和５年度分）

指定管理者名 特定非営利活動法人 音の風

代表者名 代表理事 西野桂子

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		12,612,590	12,612,590	0
利用料金収入		2,771,800	2,374,840	▲ 396,960
	会議室等	2,350,000	2,161,800	▲ 188,200
	スモールオフィス			0
	付属設備（自主事業を除く）	421,800	213,040	▲ 208,760
その他収入	光熱水費分担金			0
	個別事業参加費			0
				0
当期収入合計		15,384,390	14,987,430	▲ 396,960
【支出の部】				
１．施設運営業務				
人件費		7,950,000	7,849,577	100,423
	職員1名、非常勤11名	7,950,000	6,454,237	1,495,763
	法定福利費		1,395,340	▲ 1,395,340
	福利厚生費			0
				0
光熱水費		800,000	574,661	225,339
	電気代	665,000	498,391	166,609
	ガス代	15,000	10,600	4,400
	水道代	120,000	65,670	54,330
施設管理費		460,000	387,310	72,690
	樹木剪定			0
	定期清掃等	100,000	78,650	21,350
	機械警備	260,000	248,160	11,840
	消防保守点検	50,000	33,000	17,000
	E V保守点検			0
	空調保守点検			0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検			0
	自家用電気工作物			0
	雑用水用給水設備			0
	建築設備点検	50,000	27,500	22,500
	空気環境測定等			0
				0
事務費		1,125,000	511,358	613,642

	印刷製本費	30,000	37,829	▲ 7,829
	新聞図書費	50,000	55,300	▲ 5,300
	通信運搬費	150,000	131,502	18,498
	事務用消耗品費	245,000	109,771	135,229
	備品消耗品費	250,000	96,161	153,839
	賃借料	250,000		250,000
	旅費交通費	30,000		30,000
	研修費	30,000		30,000
	会議費	10,000		10,000
	支払手数料	20,000	14,795	5,205
	管理諸費	60,000	66,000	▲ 6,000
	雑費			0
修繕費		500,000	360,150	139,850
	ピアノ調律代		6,250	▲ 6,250
	会議室カーテン取替		353,900	▲ 353,900
				0
備品購入費（５万円以上の物品）		0	94,800	▲ 94,800
	事務用パソコン	0	94,800	▲ 94,800
				0
租税公課		700,000	636,734	63,266
	消費税	700,000	636,734	63,266
				0
その他		15,000	8,000	7,000
	賠償責任保険保険料	10,000	5,000	5,000
	諸会費	5,000	3,000	2,000
施設運營業務支出合計		11,550,000	10,422,590	1,127,410
２．事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,665,000	3,565,303	99,697
	1. 市民活動自立自走事業	1,340,000	1,247,712	92,288
	2. 文化芸術交流連携事業	1,140,000	1,195,563	▲ 55,563
	3. 多世代交流事業	830,000	776,568	53,432
	4. 地域連携事業	355,000	345,460	9,540
				0
サロン運営・活用事業費		0	0	0
				0
その他	事業実施業務繰越			0
事業実施業務支出合計		3,665,000	3,565,303	99,697
当期支出合計		15,215,000	13,987,893	1,227,107
当期収支差額		169,390	999,537	830,147

令和5年度 事業報告書
左京東部いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人劇研】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 6 名（常勤 1 名、非常勤 5 名）

【人材育成の取組】

- ・2024 年 1 月 30 日に研修会を実施（左京西部、東部合同）
- ・事業に関わる職員については、別途個別に研修を実施

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
440	379	414	391	395	429	446	458	395	332	401	435

(年間)

4915 件（前年度比 78.5%）

イ 利用状況

- 利用件数、利用時間数共に前年度比で 22%減少した。新型コロナウイルス対応が 5 類への移行したことを受け、大学生がコロナ前と同じ状況で学校施設が利用できることになり、大学生の利用が大きく減ったためと考えられる。

ウ 利用促進に向けた取組

- SNS を定期的かつ頻繁に発信することにより、センターの認知を高めた。
- センターを紹介するチラシを作成し、施設に配布するとともに、演劇公演等の催しで、来場者に配布した。
- 事業と連動し、事業出演者の練習のための利用増加を来場者にチラシを配布するなどしてセンターの周知を図った。

エ その他

- サロンの自由利用者の減少は止まらず、前年度比で 32%(68%減)と昨年度にまして大きく減少することとなった。定期的に来られていた方のほとんどが施設に入っしまい、通えなくなったことが大きな理由と考えられる。占有件数は前年度比で 113%と前年を上回った。コロナの 5 類移行を受けて地域活動等が復活したためと考えられる。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- SNS を定期的かつ頻繁に発信することにより（週 5 日発信）、センターの認知を高めた。X（旧 Twitter）は発信力が徐々に拡大し、フォロワー数も年間で 80 名増加した。
- 事業と連動し、社会活動に取り組む方にインタビューを行い、冊子にまとめるとともに、インタビューを映像にまとめ、web で発信した。冊子は京都市内の施設に広く配布した。

イ 取組の効果

- 特にサロン活性化事業への関心が高まり、各回盛況となった。

(4) 管理運営

- 消防設備・建物の点検を実施するとともに、不備箇所について修繕を行った。日常的に清掃を行い、年数回大掃除。植栽の手入れ備品等の保守点検、修繕等を実施した。

(5) その他

- 昨年度に引き続き、サロンの活用事業などで学区社協および隣接する錦林保育園と連携し事業を実施した。団地再生計画が進む中、まちの記憶をアーカイブするため大谷大学社会学部と共同で地域の住民に聞き取りを行った。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み1 『多様な交流の促進事業』（市民活動支援・活性化事業）

- | |
|-------------------------------------|
| 1 開催日時：令和5年5月3日16時、4日14時および18時30分 等 |
| 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター 集会室 |
| 3 参加人数： 381名 |
| 4 協力団体等： T-position Ballet 等 |
| 5 予算： 1,964,900円 / 決算： 1,922,742円 |

1 事業内容

○左京東部いきいき市民活動センターを、利用団体、地域団体などとの交流の場として機能させる目的で文化交流事業を開催した。「新緑の文化祭」「秋の文化祭」「春の文化祭」と題して年3回、センタ利用者による多ジャンルの音楽、ダンス、演劇、落語など多彩な催しを実施した。中学生からシニア世代まで幅広い世代が参加し、レベルの高い演奏などを実施した。出演者どうし、観客を交えて楽しい交流の機会を創出した。

○この文化祭を通じ今年も各団体と連携して情報を発信した結果、幅広い宣伝効果があった。

2 準備段階での工夫

○今年もセンター利用団体さん等とコミュニケーションをとり、対象者や内容のバランスも見極めた上でプログラムを実施した。

○集会室で最大限の演出効果が図られるよう工夫した。照明や音響効果のレベルが向上した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○今年も利用者どうし、センターに足を運んだことのない方、地域住民など多様な人たちが交流を図ることができたと同時に、センターの認知を高めることができた。

（2）事業実施による目標の達成度

○集客率は今年も80%を超え、多くの来場者にお越しいただくことができ、概ね目標を達成した。

○いただいたアンケートによると、「とても良かった」「良かった」と回答した人が今年も9割を超え、記述式の回答でも「楽しいイベントでした！！年齢もいろいろ、ほほえましく、楽しめました！」「照明やセットもよくとても楽しく見続けることができました。また来年も来させて頂きます」のような肯定的な回答を数多くいただくことができた。

4 今後の抱負

○障害のある方などより幅広い方に対応できるよう、ハード面の工夫（車椅子用スロープの設置）や運営体制を充実させていきたい。



演劇公演の様子（新緑の文化祭）



合唱公演の様子（春の文化祭）



中学生とその家族による演奏の様子（春の文化祭）

※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

**【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み 2『市民への聞き取り事業』
(市民活動支援・活性化事業)**

事業の概要

- 1 開催日時：パネル展示：2月13日～2月26日左京西部にて／3月6日～3月18日左京東部にて
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 聞き取りボランティアおよび学生14名／来場者多数
- 4 協力団体等： 大谷大学社会学部 等
- 5 予算：879,700円 ／ 決算：839,060円

1 事業内容

○錦林市営住宅および、養正市営住宅団地にお住まいの方（以前に暮らしていた方）に聞き取りを行い、それを冊子にまとめつとともにパネルにし展示した。聞き取りのテーマは「思い出の味」。聞き取りにあたっては、大谷大学社会学部の学生や先生等と共同で実施。聞き取りに参加する学生には、聞き取りのための研修としてコミュニケーションワークショップを実施するとともに、聞き取りにあたって現場で指導を行なった。

2 準備段階での工夫

○聞き取りにあたっては学生さんや先生方に協力いただき、地域の歴史（食文化）などを知るきっかけとなることを意図した。また、そうした人たちが地域の方と多世代をまたいで交流できる機会を作れた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○いきいきセンターが立地する地域には地域独特の食文化が育まれてきた。以前はそうした食材を販売する店舗もあったが、現在は団地内にはそうしたお店もなくなり、そうした食文化の存在を知る方も減少しつつある。そうした食文化についての貴重な声をセンターに来られる多くの方と共有でき、知っていただく機会となった。また、こうした貴重な声を冊子に残すことができた。

（2）事業実施による目標の達成度

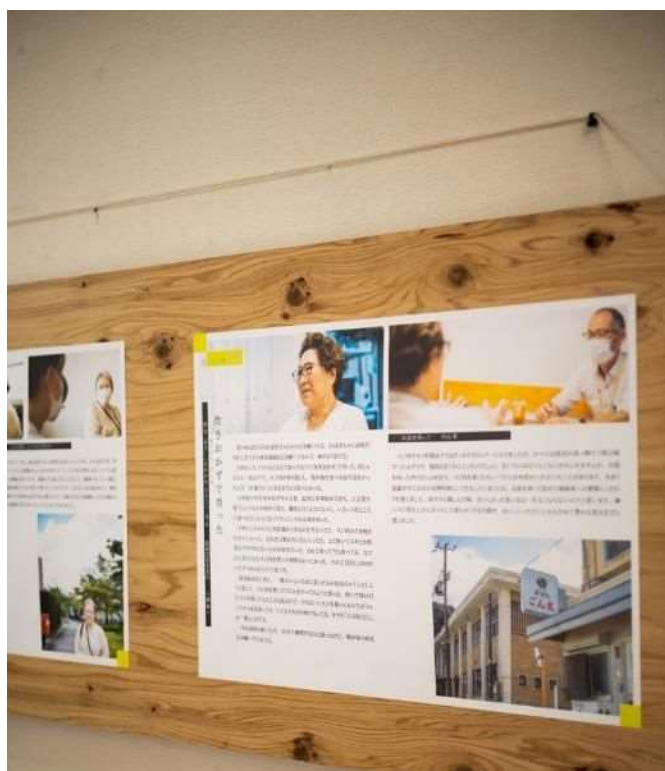
○食文化にまつわる貴重な声を記録に残すことができた点で、十分な達成度が得られた。
○学生さん・先生方には聞き取りにあたって、実際に地域食を試食していただき、実感を持って聞き取りを行っていただいた。「おいしい」という声も聞かれ、かつてネガティブなイメージを持たれることもあったこうした食文化を、新鮮な視点で評価いただけた点で意義があった。

4 今後の抱負

○こうした思い出を語っていただける世代が高齢化しており、こうした貴重な声を残せる時間も限られてきていると感じている。引き続き地域ならではの思い出を記録に留めていきたい。

事業風景の写真

左京東部での展示風景



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み3 『文化ボランティア育成事業』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 9月20日：ボランティア募集開始9月～3月：随時面談、登録
ボランティア活動日 10/23、12/23、3/15、16
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 登録ボランティア6名
- 4 協力団体等：
- 5 予算：220,400円 / 決算：220,400円

1 事業内容

○事業の運営を支え、協力してくれる「文化ボランティア」を募集し、当センターが主催する文化関連の事業において受付等の手伝いなどボランティア活動を行っていただいた。SNSやホームページを活用した募集の告知を行い、説明も随時開催した。

2 準備段階での工夫

○公募をかけるだけでなく、いい取り組みをされている団体さんに紹介いただく方法をとって募集をおこなった。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○15名の目標には届かなかったものの、昨年より多い6名の方にボランティアとして活動いただくことができた。

○主に、サロン活性化事業で子供たちが多く集まる際にボランティアをお願いした。複数で子供の見守りができ、子供たちのフォローもできたことで、子供たちも楽しめ、事業が円滑に進んだ。ボランティアの皆さんにもやりがいがあり、満足していただけた。今年は3名の学生さんにも参加いただくことが出来た。

（2）事業実施による目標の達成度

○登録者は昨年より増えて6名となった。

4 今後の抱負

○活動いただく機会をもっと増やし、やりがいを持って取り組んでいただく工夫をしたい。

事業風景の写真

<活動風景>



令和5年12月23日開催の『影絵とアートと交換会』でアートワークショップの補佐をおこなう学生ボランティア。(手前机、正面向き2人)

※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】居場所作りを通じた、市民活動支援事業 取り組み1『サロンに集おう』（「影絵人形を作ろう」、「影絵とアートと交換会」）（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年10月13日10時～12時 影絵人形を作ろう 等
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数： 130名
- 4 協力団体等： At-Kyoto（交換会運営） 等
- 5 予算：1,058,000円 / 決算：1,055,330円

1 事業内容

○錦林東山学区の社会福祉協議会、錦林保育所と連携して、サロンにより多様な方が集える事業を実施した。高齢者が集って手作業をおこなう『影絵人形を作ろう』および『子育て中の親子の交流事業』として、おもちゃ、絵本、衣服など子供用品の無料交換会を実施するとともに、『影絵人形を作ろう』で制作した影絵の上演、および廃材を使った親子向けアート講座を実施した。昨年は1回の開催だったが今年度は3回開催した。

2 準備段階での工夫

○事業には「文化ボランティア育成事業」で登録してくれた、ボランティアが関わってくれ、地域団体と協力して実施した。

○昨年の好評を受けて回数を増やし実施した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○高齢者向け講座10名・子育て中親子の交流事業延べ100名の来場者を見込んだ。

（2）事業実施による目標の達成度

○高齢者は目標を下回ったが、来場見込みを上回る方にお越しいただくことができた。

○昨年同様、高齢者から小さなお子さんまで幅広い方がサロンに集まり、交流するとともに楽しいひと時を過ごすことができた。社会福祉協議会や錦林保育所と連携して事業に取り組むことができ、双方に喜んでいただけた。アンケートは今年も非常に好評で回答いただいたほぼ全員の方から大変満足・満足の回答を頂いた。

4 今後の抱負

○昨年より数を増やすことができたが、1回あたりの来場者数は昨年を下回った。今後は来場者をもっと増やしていくとともに、サロンに人が集える環境を整備していきたい。

事業風景の写真

居場所作りを通じた、市民活動支援事業 取り組み1『サロンに集おう』風景
「影絵とアートと交換会」

影絵上演風景



交換会風景



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】市民の社会関与を促進する事業 取り組み1『市民活動団体活動勉強会』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：2023年10月28日～11月20日 複数回ヒアリングおよび取材 等
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター サロン 等
- 3 参加人数： 映像の視聴者数回数 92回／レポート（冊子）はセンター等で1000部配布
- 4 協力団体等： At-Kyoto 等
- 5 予算：898,000円 / 決算：898,930円

1 事業内容

○子ども用品の交換会やダウン症啓発イベントなど、社会福祉活動をする団体の主催者にヒアリング調査を行い、地域の課題の実情を把握する。また、ヒアリングした内容や活動を映像で記録し編集の上インターネットで紹介するとともに、紙媒体でのレポートも作成し、センター等で配布した。

○「地域で活動する市民の力と出会うことは、その活動を支援していくというセンターとしての重要な役割・機能であるため、今後もこのようなポテンシャルのある市民との接点を増やす取組を期待したい。」という意見に対して、今年度も意欲的な市民と出会うきっかけを作った。

2 準備段階での工夫

○冊子だけではなく、映像で紹介することで広がりを狙った。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○視聴者数200名を目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

○視聴者数は現在92名にとどまっているが昨年もじわじわ伸びていく傾向があったのでそれに期待したい。冊子は行事などでも広く配布している。

4 今後の抱負

○シリーズ化をしており、vol3、vol.4と数を重ねることで広がりをも、視聴回数などもアップすることを目指している。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：7,024,960 円（前年度比 93.7%）

内訳 会議室等：6,869,900 円
付属設備：155,060 円 ※自主事業分を除く

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス（各項目の平均値）

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
44.4%	50.3%	2.0%	0.4%	2.9%

(2) センター独自アンケート

○回収したアンケートの9割以上が大変満足、満足の結果。

3 意見等への主な対応状況

○パイプ椅子が使いにくいのもう少しいいのが欲しい。→修繕し使いやすいものを大幅に増やした。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

・前年度に引き続き業務の執行体制を合理化することで、前年度に劣らぬ事業を展開できた。

・SNS（主に X）の活用頻度を高め、その反応をほぼ毎週職員で共有した。

○ 今後、解決すべき課題等

・減少傾向の利用の食い止め。

○次年度に向けた対応について記載してください。

利用者の利便性向上

利用者増への宣伝等の取り組み。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

令和 7 年度末に閉館するという話が利用者の間で広まっており、代替の活動場所に対する問い合わせが多数寄せられている。

【締め切り】

5 月 22 日（水）までに地域自治推進室へデータ 1 部＋紙 1 部を提出

※ 地域自治推進室の確認後、紙の残部（17 部又は 18 部）を提出

※ 収支決算書は、5 月 15 日（水）までに提出してください。

京都市左京東部いきいき市民活動センター

指定管理料等に関する収支決算書（令和５年度分）

指定管理者名 特定非営利活動法人劇研

代表者名 杉山準

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		16,433,320	16,433,320	0
利用料金収入		7,509,520	7,024,960	▲ 484,560
	会議室等	7,300,000	6,869,900	▲ 430,100
	ロッカー利用料	119,520	68,060	▲ 51,460
	ピアノ利用料	90,000	87,000	▲ 3,000
その他収入	光熱水費分担金	990,000	941,184	▲ 48,816
	個別事業参加費	271,000	258,400	▲ 12,600
				0
				0
当期収入合計		25,203,840	24,657,864	▲ 545,976
【支出の部】				
１．施設運營業務				
人件費		11,022,840	9,948,183	1,074,657
	職員2名		2,830,523	▲ 2,830,523
	非常勤職員5名		5,824,020	▲ 5,824,020
	法定福利費		951,554	▲ 951,554
	福利厚生費		342,086	▲ 342,086
光熱水費		5,690,000	4,286,862	1,403,138
	電気代		3,923,463	▲ 3,923,463
	ガス代		33,837	▲ 33,837
	水道代		329,562	▲ 329,562
施設管理費		840,000	736,912	103,088
	樹木剪定			0
	定期清掃等			0
	機械警備		183,260	▲ 183,260
	消防保守点検		66,000	▲ 66,000
	E V保守点検			0
	空調保守点検			0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検		55,000	▲ 55,000
	自家用電気工作物		314,292	▲ 314,292
	雑用水用給水設備			0
	建築設備点検		99,000	▲ 99,000
	空気環境測定等			0
	ゴミ廃棄料		19,360	▲ 19,360

事務費		700,000	914,778	▲ 214,778
	電話代ほか通信費		558,767	▲ 558,767
	事務用品		49,160	▲ 49,160
	消耗品		164,791	▲ 164,791
	印刷費		66,298	▲ 66,298
	支払手数料		29,150	▲ 29,150
	雑費		42,770	▲ 42,770
	旅費交通費		3,842	▲ 3,842
修繕費		530,000	371,718	158,282
	ピアノ修繕			0
	消防設備修繕		160,270	▲ 160,270
	多目的ホール電灯・ワックス		211,448	▲ 211,448
	建築設備修繕			0
備品購入費（５万円以上の物品）		0	0	0
				0
				0
租税公課		1,371,760	1,665,575	▲ 293,815
	印紙税	10,000	2,000	8,000
	消費税および地方消費税	1,361,760	1,315,689	46,071
	法人税		347,886	▲ 347,886
その他		28,240	42,240	▲ 14,000
	賠償責任保険料	13,240	13,240	0
	諸会費	15,000	29,000	▲ 14,000
施設運營業務支出合計		20,182,840	17,966,268	2,216,572
２．事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,963,000	3,881,132	81,868
	芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業取り組み１	1,964,900	1,922,742	42,158
	芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み２	879,700	839,060	40,640
	芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み３	220,400	220,400	0
	市民の社会関与を促進する事業	898,000	898,930	▲ 930
				0
サロン運営・活用事業費		1,058,000	1,055,330	2,670
	居場所作りを通じた、市民活動支援事業	1,058,000	1,055,330	2,670
				0
				0
その他	事業実施業務繰越			0
事業実施業務支出合計		5,021,000	4,936,462	84,538
当期支出合計		25,203,840	22,902,730	2,301,110
当期収支差額		0	1,755,134	1,755,134

令和5年度 事業報告書 左京西部いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人劇研】

1. 管理運営の状況

1 施設運營業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 7 名（常勤 1 名、非常勤 6 名）

【人材育成の取組】

- ・ 2024 年 1 月 30 日に研修会を実施（左京西部、東部合同）
- ・ 事業に関わる職員については、別途個別に研修を実施

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
336	311	332	335	307	408	367	372	268	295	333	362

(年間)

4022 件（前年度比 83.7%）

イ 利用状況

- 利用料金制度への移行により、昨年度と比べて件数ベースで 780 件減、時間ベースで 1863 時間減となった。特に移行前の予約ができた 4~6 月の減少が顕著だった。利用団体の内訳は音楽・演劇などのパフォーマンス系団体の利用が約 70%。昨年度より利用可能となった営利目的でない事業者の利用は 18 件 136 時間だった。

ウ 今後、様々な方法で利用率を上げていくことが課題。事業者利用は昨年度の 4 件 19 時間から 18 件 136 時間と大幅に増えたが、市民活動利用と事業者利用のバランスは引き続き考え続けて行くべきことだと認識している。

エ 令和 6 年 3 月 18 日より、利用者の利便性向上のため、当日の利用に限り、電話での仮予約を受け付ける事とした。3 月 18 日から 3 月 31 日までで 5 件の当日電話仮予約があり、今後の利用者増加につなげたい。

- サロンは昨今、利用者の高齢化で、特に自由利用者が減っており、2~3 名が週 2 回利用するという状況だったが、10 月以降その方たちの利用がなくなった。一方、サロンを使用した提案事業の実施で、これまで当センターを知らなかった方々がサロンを訪れ、センターの利用に繋がるケースが増えた。1 月以降、新たな地域住民のグループ 4~5 名がほぼ毎日サロンを利用するようになった。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- センターのホームページのほか、Twitter、Facebook での情報発信を行っている。
- サロンでの地域に係る展示や、かもがわデルタフェスティバルを使った、利用者の成果発表など地域の魅力を発信する機会を作っている。

イ 取組の効果

- 特に提案事業へのボランティア参加者が増え、新たな事業のアイデアも提案された。提案された事業は令和 6 年度より実施予定。

(4) 管理運営

- 備品の長机やパイプ椅子等が老朽化し、使用できないものが増えてきたが、単純に買い替えるのではなく、職員自身が修理し、その様子を SNS で発信している。

廃材を利用した棚やテーブルを共有スペース（ロビー）に設置し、美しく居心地のいい空間づくりを心がけている。

(5) その他

利用者への積極的な声掛けや、地域の取り組みへの積極的な参加を行っている。特に養正市営住宅は再開発に着手しており、今後どんな地域にしていきたいかという課題を地域住民とともに話す場として、サロンを使ってもらうなど、地域の発展に貢献できるよう努めている。

また、同じ建物内の養正保育所や、地域内の養正小学校とも連携し、事業を行っている。

2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み 1、外国籍市民と古くから住む住民、若者と高齢者などが互いの理解を深め、交流を促進する事業（多文化交流事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和6年9月16日（土）15時～17時
- 2 開催場所：希望の広場（養正児童公園）
- 3 参加人数：来場者約800名
- 4 協力団体等：かもがわデルタフェスティバル実行委員会／カポエイラ・アンゴラ インジンガ京都
- 5 予算：1,160,000円 / 決算：1,158,128円

1 事業内容

- 当センターも実行委員として参加している「かもがわデルタフェスティバル」の関連企画として、「かもがわデルタフェスティバル」のステージを利用し、「カポエイラ・アンゴラ グループ インジンガ 京都」「PPI KYOTO SHIGA」の協力を得て、カポエラやインドネシアスマトラ島の伝統舞踊の紹介を行い、同じ舞台で「養正小学校金管バンド」の演奏や「田中村六斎念仏保存会」の六斎念仏踊りの発表を組み合わせることで、地域の方と海外にルーツを持つ方との交流の場をつくった。
- イベントだけに留まらないよう、フェスティバル中、当センター内に学国籍の方向けの相談窓口を設置した。

2 準備段階での工夫

- 「カポエイラ・アンゴラ グループ インジンガ 京都」「PPI KYOTO SHIGA」「田中村六斎念仏保存会」「養正小学校」のご協力をいただき、実施した。
- 地域の複数の団体で構成された「かもがわデルタフェスティバル実行委員会」協力のもと広報、準備活動を実施し、スムーズな運営ができた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 1000名程度の参加者を目標としていたが、800名の参加があった。
地域の方々と特に外国籍の左京西部いきいき市民活動センター利用者との交流の場を作り、文化紹介を行い相互理解を深めるという効果が見込まれた。

（2）事業実施による目標の達成度

- 参加人数の達成度は80%。
- 「インドネシアの伝統舞踊が迫力があってすごかった」「六斎念仏というものを聞いたことはあったが、観たことはなく、実際に初めて観ることができてよかった」などの良い感想をいただいた。

4 今後の抱負

- 今後もこうした異文化交流の場を広めるとともに、子育て支援や防災などの事業に参加してもらい、日常生活レベルでの相互理解と課題解決に寄与できるようにしたい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み 2 廃材アート作品制作ワークショップ事業（廃材アート）

事業の概要

- 1 開催日時：WS：4月22日から毎月第3土曜日に開催。計12回 展示：9月16日 3月20日～24日
- 2 開催場所： ふれあいサロン
- 3 参加人数： 各回約50名、計のべ約600名
- 4 協力団体等： スタジオぐるり
- 5 予算：720,000円 / 決算：721,517円

1 事業内容

- 水野哲雄京都芸術大学名誉教授が主催するスタジオぐるりと協力して、高齢者や親子が参加できる廃材を使った、アート作品創作ワークショップを行った。9月と3月に作品の展示会を実施した。

2 準備段階での工夫

- 廃材アートで使用する材料調達、ワークショップの進行、展示など「スタジオぐるり」の協力を得て実行した。
- SNSを使った広報。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 当初の参加者目標は360名。アート作品制作を通じて環境問題やSDGsの取り組みに対する理解を深める効果が見込まれた。

（2）事業実施による目標の達成度

- 今年度から子育て用品リユース交換会と同日開催とし、それぞれの企画参加者が交流できるようにしたため、参加者はのべ600人となった。
ワークショップ、展示を通じて環境問題、SDGsに対する関心を喚起し、理解を深めることができた。
- とても楽しかった。リユース交換会と一緒に参加できるようになって良かった。ゴミから色々な作品が出来て子供と一緒に楽しめた。などの声が聞かれた。

4 今後の抱負

- 遊びながら環境問題、ごみ問題についての理解を深められるこの企画は好評で、引き続き実施していこうと考えています。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み 3 主に子育て世代を対象とした、リユース交換会サポート事業（リユース交換会）

事業の概要

- 1 開催日時：令和 5 年 4 月 22 日（土）～令和 6 年 3 月 16 日（月 1 回・計 12 回）
- 2 開催場所：左京西部いきいき市民活動センター ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約 50 名 のべ約 600 名
- 4 協力団体等：AT-Kyoto
- 5 予算：680,000 円 ／ 決算：679,955 円

1 事業内容

- 主に子育て世代を対象とした、リユース交換会を行っている任意団体 AT-Kyoto と協力し、子育てに必要なもの、すでに不要になったものの交換会を毎月 1 回、計 12 回行った。企画の周知や、開催日に参加できないひとのために、左京西部いきいき市民活動センター入口に交換会で残ったものを並べる棚を設置し、センター利用者や保育所に通う方も欲しいものがあれば持ち帰れるようにした。

2 準備段階での工夫

- 会場設営など AT-Kyoto の協力を得て実施した。
- SNS を使った広報。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 各回 25 組の親子 50 名×12 回 延べ 600 人を目標とした。
子育て世代の交流促進と共に、「捨てる」から「交換する」へ、SDG s への関心や意識向上を目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- 廃材アート WS と同日開催にしたこともあり、参加者のべ 600 名という目標は達成できた。
子育て世代の交流促進と共に、「捨てる」から「交換する」へ、SDG s への関心や意識向上に寄与することができた。
- 子育て用品が交換できるのはありがたいです。捨てるのはしのびなかったのでよかった。子育てされているいろいろな方達と交流できて心強く思いました。などの声が聞かれた。

4 今後の抱負

- 大変好評な事業であり、子育て支援、ふれあいサロンの活動という観点からも事業を継続していきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み 4 まちづくりサポーター育成事業（ボランティア育成）

事業の概要

- 1 開催日時：令和 5 年 4 月 23 日（日）～令和 6 年 3 月 31 日／（月 1 回・計 12 回）
- 2 開催場所：左京西部いきいき市民活動センター ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約 15 名
- 4 協力団体等：左京朝カフェ 京都市東部まち美化事務所
- 5 予算：780,000 円 ／ 決算：765,000 円

1 事業内容

- 今年度より、左京朝カフェと協力し、当センターの企画する事業や地域の活動をサポートしてくれるボランティアを組織した。

月 1 回のペースで、当センター周辺の事情や、地域の市民活動活性化のための研修、ディスカッションを行った。9 月 16 日の「かもがわデルタフェスティバル」、1 月よりはじまった「月イチ地域清掃」にボランティアとして参加した。

2 準備段階での工夫

- 広報や事業実施について、左京朝カフェや京都市東部まち美化事務所の協力をいただいた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 5～10 名のボランティア参加者を目標としていた

（2）事業実施による目標の達成度

- 学生を含む 15 名が参加し、かもがわデルタフェスティバルや地域清掃などの事業をサポートした。
- お祭りに参加できてよかった。地域清掃をしている時に、住民の方に「ご苦勞様」と言われたのが嬉しかった。などの声が聞かれた。

4 今後の抱負

- 当センター周辺地域は高齢化率が高く、地域を活性化するためには、学生を含む若者の地域活動への参加が不可欠であると考え、今後もまちづくりを支援するボランティアの募集、活動は継続していきたい。特に今年度は「防災」をテーマにした事業を企画しており、何かあった時に助け合えるボランティアを組織したい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. サロン運営・活用事業

【事業名】サロンを活用した市民活動活性化事業 取り組み 1 地域課題解決サークル立ち上げ、サポート事業（サロン活性化サークル育成事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年4月23日～3月31日 /（月1回・計12回）
- 2 開催場所：左京西部いきいき市民活動センター ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約15名
- 4 協力団体等：京都学生演劇祭実行委員会 かもがわデルタフェスティバル実行委員会
- 5 予算：875,000円 / 決算：895,933円

1 事業内容

- ふれあいサロン（旧高齢者ふれあいサロン）を使った地域の活性化のためのサークルメンバーを募集し、サロン利用者、地域の方々への聞き取りや、専門家の話を聞きながら、サロンの活用法を考え、実践した。

具体的には昨年度末に提案され実践した「自由菜園」と「自由本棚」を継続し、「自由菜園」で収穫された野菜などは一部「ふれあい食事会」で使用し、タイミング的に難しいものは左京西部いきいき市民活動センター入り口のテーブルに並べ、利用者に持ち帰って貰えるようにした。生ごみを減らすため、コンポストを作成、設置した。

2 準備段階での工夫

- 京都学生演劇祭実行委員会、かもがわデルタフェスティバル実行委員会の協力を得て事業を実施した。
- SNSを使った広報。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 各回5～10名の参加を目標とした。ふれあいサロンを訪れる人を増やし、地域の活性化を促すことを目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- 各回15名の参加があり、目標は達成できた。
- この施設を使って、色々なことができそうで、出来るか考えるのは楽しかった。野菜がとれた時は嬉しかった。などの声が聞かれた。

4 今後の抱負

- 今年度の企画会議では「防災についてのイベント」と「バケツ田んぼ」「ビオトープ作成」が提案され、実施に向け準備している。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. サロン運営・活用事業

【事業名】サロンを活用した市民活動活性化事業 取り組み 2 地域の歴史、記憶アーカイブ事業（地域に係る展示）

事業の概要

- 1 開催日時：令和 6 年 2 月 21 日（水）～令和 6 年 3 月 4 日（月）
- 2 開催場所：左京西部いきいき市民活動センター ふれあいサロン
- 3 参加人数：来場者 104 人
- 4 協力団体等：大谷大学
- 5 予算：265,000 円 / 決算：265,000 円

1 事業内容

- 大谷大学、左京東部いきいき市民活動センターと協力し、「思い出の味」をテーマに地域の方にインタビューした内容をパネルにして展示した。

6 月に錦林、養正それぞれの住民にインタビューを行い、インタビューを基にパネルを創作し、左京西部いきいき市民活動センターふれあいサロンで、2 月 21 日～3 月 4 日の期間展示した。

2 準備段階での工夫

- 大谷大学の学生らと協力し、インタビュー、文章作成を行った。
- SNS での広報に加え、近隣の商店にも広報にご協力いただいた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 100 名の来場者を目標とした。
地域の魅力を再発見し、地域外の人に知ってもらうことを目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- 来場者 104 名で目標は達成できた。「思い出の味」という身近なテーマで地域の魅力を再発見し、地域外の人に知ってもらうことができた。
- （地域の味である）「ようしょく」の話が懐かしかった。自分も子供の頃よく食べた。久しぶりに「こんまき」を作ってみた。などの声が聞かれた。

4 今後の抱負

- 地域の方々との交流にもなる事業であり、継続していきたい。今後も魅力的なテーマで地域の魅力を発掘、再発見し、地域外の人たちに伝えていきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. サロン運営・活用事業

【事業名】高齢者食堂・子供食堂支援事業（ふれあい食事会）

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年4月27日～令和6年3月28日／（月1回・計12回）
- 2 開催場所：左京西部いきいき市民活動センター ふれあいサロン
- 3 参加人数：参加者 78 名
- 4 協力団体等：京都 Tera.Coya モンパン食堂 京都市立養正浴場 ようせいの家 など
- 5 予算：370,000 円 ／ 決算：372,895 円

1 事業内容

- これまで地域の高齢者の孤独化防止のため実施していた「高齢者食堂」を、高齢者を主な対象としながら、若い世代も参加しやすく、世代間交流を促進させる「ふれあい食事会」として、4月27日より、月1回、計12回実施した。

同時に、今後の「ふれあい食事会」ならびに「こども食堂」を支えてくれるボランティアスタッフを募集し、7名のボランティアスタッフを獲得した。

2 準備段階での工夫

- 「京都 Tera.Coya」「モンパン食堂」の協力を得て、事業を実施した。
- SNSでの広報に加え、京都市立養正浴場や、ようせいの家に広報協力をいただいた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 参加者各回10名、計120名を目標とし、「ふれあい食事会」を介した多世代交流を促すことを目的とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- 「高齢者食堂」を「ふれあい食事会」と名称を改め、高齢者だけでなく、広く参加できるようにした。年度前半は参加者も4～6名とまばらだったが、1月以降毎回約10名の参加者があり、「ふれあい食事会」を介した多世代交流が出来てきている。
- 知らない人と食事をするのは緊張したが、段々楽しくなった。片付けなどの協力が出来て良かった。さっきまでそこになっていた野菜が料理になって面白かったなどの声が聞かれた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
特に4月～9月の期間、参加者が少なかった。10月頃から増え始めた参加者をさらに増やすよう、広報を強化するとともに、魅力的な交流の場創りをしていきたい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：4,891,780 円（前年度比 105%）

内訳 会議室等：4,812,100 円

付属設備：79,680 円 ※自主事業分を除く

スモールオフィス：0 円

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
54.9%	43.5%	0.3%	0%	1.3%

(2) センター独自アンケート

○ 概ね満足

3 意見等への主な対応状況

○ 机やパイプ椅子などの備品が老朽化しているとの意見があったため、修繕している。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。
概ね好評な意見をいただいているので、発展的に継続していきたい。
- ・ 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。
利用率を上げていくこと。
- ・ 次年度に向けた対応について記載してください。
利用者の利便性向上と、地域の活性化を促し、利用率上昇につなげたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

特になし

【締め切り】

5月22日（水）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙1部を提出

※ 地域自治推進室の確認後、紙の残部（17部又は18部）を提出

※ 収支決算書は、5月15日（水）までに提出してください。

京都市左京西部いきいき市民活動センター

指定管理料等に関する収支決算書（令和５年度分）

指定管理者名 特別非営利活動法人劇研

代表者名 杉山 準

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
指定管理料収入				
指定管理料収入		12,202,090	12,202,090	0
利用料金収入				
利用料金収入		4,900,000	4,891,780	▲ 8,220
	会議室等	4,900,000	4,812,100	▲ 87,900
	スモールオフィス			0
	付属設備（自主事業を除く）		79,680	79,680
その他収入				
その他収入	光熱水費分担金			0
	個別事業参加費	100,000	0	▲ 100,000
				0
				0
				0
当期収入合計		17,202,090	17,093,870	▲ 108,220
人件費				
人件費		7,722,090	6,380,246	1,341,844
	常勤職員2名		3,021,902	▲ 3,021,902
	非常勤職員7名		1,854,366	▲ 1,854,366
	法定福利費		978,426	▲ 978,426
	福利厚生費		525,552	▲ 525,552
光熱水費				
光熱水費		1,970,000	1,831,615	138,385
	電気代		1,404,725	▲ 1,404,725
	ガス代		36,198	▲ 36,198
	水道代		390,692	▲ 390,692
施設管理費				
施設管理費		950,000	867,350	82,650
	樹木剪定			0
	定期清掃等			0
	機械警備		180,620	▲ 180,620
	消防保守点検		185,900	▲ 185,900
	E V保守点検			0
	空調保守点検			0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検			0
	自家用電気工作物		351,120	▲ 351,120
	雑用水用給水設備			0
	建築設備点検		132,000	▲ 132,000
	空気環境測定等			0
	ゴミ廃棄料		17,710	▲ 17,710

事務費		450,000	575,955	▲ 125,955
電話代ほか通信費			265,952	▲ 265,952
消耗品費			161,136	▲ 161,136
印刷費			85,785	▲ 85,785
事務用品			46,032	▲ 46,032
支払手数料			17,050	▲ 17,050
修繕費		200,000	351,570	▲ 151,570
消防設備交換			351,570	▲ 351,570
〇〇修繕				0
				0
備品購入費（5万円以上の物品）				0
				0
				0
				0
租税公課			1,281,870	▲ 1,281,870
消費税			1,095,670	▲ 1,095,670
法人税			186,200	▲ 186,200
				0
その他		1,060,000	6,100	1,053,900
賠償責任保険保険料			6,100	▲ 6,100
				0
施設運営業務支出合計		12,352,090	11,294,706	1,057,384
市民活動支援・活性化事業費		3,340,000	3,324,600	15,400
多文化交流事業		1,160,000	1,158,128	1,872
廃材アート事業		720,000	721,517	▲ 1,517
リユース交換会事業		680,000	679,955	45
ボランティア育成事業		780,000	765,000	15,000
				0
サロン運営・活用事業費		1,510,000	1,533,828	▲ 23,828
サロン活性化サークル育成事業		875,000	895,933	▲ 20,933
地域に係る展示事業		265,000	265,000	0
ふれあい食事会事業		370,000	372,895	▲ 2,895
その他	事業実施業務繰越			0
事業実施業務支出合計		4,850,000	4,858,428	▲ 8,428
当期支出合計		17,202,090	16,153,134	1,048,956
当期収支差額		0	940,736	940,736

令和5年度 事業報告書 中京いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人 あかしやふれあいネットワーク】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 12 名（常勤 2 名、非常勤 10 名）

【人材育成の取組】

- ・月に 1 度のミーティングは必ず行い、業務連絡や日々の業務での改善について意見交換しました。従事者全体で業務の内容や状況を知ることで来館者からの疑問に対する回答が的確になる事や案内等にも繋がっています。また、センターの周知や事業・イベント広報についても担当者と細部について話し合う事で、適切な広報に繋がっています。
- ・従事者のスキルアップのために、今年度も京都市、京都府施設等で行っている研修やワークショップ、オンラインイベントに参加し、スタッフ間で情報共有しました。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
147	125	160	149	119	137	151	143	146	123	134	121

(年間)

1,655 件（前年度比 98%）

イ 利用状況

- 年間での利用状況について、傾向などを記載してください。
 - ・前年度比は 98%と減少していますが、新規の利用者や団体は確実に増加しています。貸館使用料の改訂に伴い、継続利用者は、使用時間の削減が見られます。附属備品等の貸出しは新たな備品を用意し、利用者が快適に貸館利用をできるよう努めています。
 - ・傾向として、月初の予約時には継続して利用される方の予約が多く、開館前から玄関前に並ばれています。平日は午前・午後とも個人や少人数の団体、高齢者の団体が利用され、夜には、各団体などが年齢関係なく集中して利用があります。土日は、時間関係なく、利用されています。
 - ・また、事業を開催した事で中京いきいき市民活動センターを知っていただき、個人や団体で利用されることも増えています。学生サークルの利用もあり、活動する中での打ち合わせや、料理室を使用して昼食を作りながら楽しく過ごされています。
 - ・今年度も SNS 等で中京いきいき市民活動センターの存在や活動内容を示し、仮予約可能なことや新たに無料で貸出せる備品の案内を館内に掲示して利用者に知っていただけたことは利用増加につながっていると思います。
- 課題や改善が見られた部分があれば記載してください。
 - ・コロナ禍の中、オンライン会議等で利用される方も多く、利用者に少しでも快適に利用してもらえるよう Wi-Fi 環境を整えました。しかし、建物が鉄筋コンクリートのため、電波が 3 階まで届かない事もある中、利用申請の際には必ず、どのような内容で利用されるのか確認する事で、Wi-Fi 利用をされる方への案内ができて快適に利用してもらえるようになっています。従事者全員が利用者に寄り添い、会話や思いを聞いたり、話す事で活動内容を把握したり、センター

との信頼関係や交流を保てるように努めています。

ウ 利用促進に向けた取組

- センターで取り組まれたことを記載してください。
 - ・ブラックボードに館内の様子や事業の様子をわかりやすくし、本館とサロンの玄関先に置いています。通りから立ち止まって見て行かれたり、声をかけて来られる時もありました。
 - ・令和4年度より、仮予約システムを取り入れた事が利用者に浸透しています。遠方から利用申請に来られる方や都合の合わない方は電話・メール・グーグルフォーム・LINE から仮予約システムを利用されています。メールやグーグルフォーム・LINE については仮予約の連絡があれば必ず返信して、状況を伝えます。すでに予約が入っている場合もあるので、その際は空き状況のいくつかの候補を提示して利用者に分かりやすく案内しています。
 - ・今年度は有線マイクと Bluetooth スピーカーを購入し、無料貸し出しをしています。
 - ・昨年度からの独自の Wifi 環境やプロジェクター利用も増えています。
 - ・利用者の活動やセンター事業の様子を定期的に SNS 等(LINE・Instagram・Facebook・note)で配信したことで、興味を持った方からの利用や、事業への参加、団体から団体への繋がりが増えました。
 - ・当センターの紹介やアクセスが便利な事を前面に打ち出したポスターを作成し、近隣の掲示板や施設に掲示してもらい、問い合わせもありました。
 - ・今年度も「いきいき通信」を発行し、事業の様子や活動団体の様子を明記していることで、初めての来場者にもわかりやすく、興味を持っていただいた事業への参加や利用にも繋がりました。
 - ・館内の印刷物も随時、わかりやすく、張替え、SNS 等の QR コードも読み取れるよう貼りました。

エ その他

- サロンについて、利用状況や前年度と比較した増減の分析等を記載してください。
 - ・サロンは多世代交流事業の3取組を毎週行うことで、利用人数は増加しており、他の事業の参加や新規サークルへの誘導ができました。多世代交流事業では学生ボランティア（すまいるプロジェクト・先端科学大学・立命館大学・花園大学）も参加していることや、市民活動団体とコラボでイベントを行ったりしているので利用人数が増えています。市民活動団体のコラボ件数も増えました。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- ・令和4年度から LINE を活用した広報を行っており、今年度は配信できるメッセージ数の上限を1000通から5000通にアップグレードし、毎週3～4回程度のペースで配信を行っています。貸館利用者や事業参加者へ LINE の登録を促し、最新の情報を受け取ってもらえるよう声かけを行いました。
- ・掲示板のリニューアルとして、入口掲示板を刷新し、各事業のチラシやイベントスケジュールを掲示しました。取り組みが可視化されることでセンターへの理解が深まり、事業への参加にもつながると考えました。また、各会議室の掲示板に HP や SNS へ誘導する二次元コードを貼り出し、利用者が情報を取得しやすい環境づくりに努めました。
- ・SNS 担当スタッフは、毎週行っている多世代交流事業や他の事業や募集、センターの紹介など写真や動画で配信し、センターの情報公開を行いました。
- ・時には、団体の了承があれば、活動している個人や団体の写真や動画も配信しました。

- ・地域のイベントや活動団体のワークショップに参加し、交流を深め、当センターの紹介や活動団体の紹介ができたことで、当センターの事業参加やコラボイベントに繋がりました。
- ・近隣の三条会商店街の大きなイベント「七夕夜市」や山王神社の「山王まつり」で「中京いきセン」として参加が可能となり、センターを紹介する広報活動を行いました。その他、地域の祭りや繋がった団体からの紹介で出向き広報ができました。

イ 取組の効果

- ・LINE1000 通では1 案件（1 イベント）1 回の配信が限度だったが、複数回配信ができるようになり、LINE 配信後に申し込みや問い合わせをいただくケースが多く、予定忘れ・申し込み忘れを防止するリマインド機能も果たせていると考えます。アンケートでは「SNS を見て参加した」との回答が僅かながら増加してきており、LINE の友達（登録者数）が、4 月と比較し、163 件増加しました。
- ・日々の利用のなかで、掲示物の写真を撮影したり二次元コードを読み取ったりと、各種事業へ関心を示していただけている様子が見られました。また、窓口にて事業に関する質問を受けることもあり、掲示板の効果を感じています。掲示物の貼り替え作業中に「こういうイベントもやっているんですね」とお声がけいただいたこともあり、スタッフと来館者がコミュニケーションをとるきっかけにもなっています。
- ・SNS 等で繋がっている方は、随時、情報を見て参加され、問い合わせや事業への申込みをされる方もいました。また団体に興味があり紹介し繋がれた事例もありました。
- ・多世代交流事業の“ぶち合わせ太鼓”をインスタで見られた三重県の太鼓づくりをされている方が、太鼓を5 個寄付して頂きました。花園大学の学生と共に参加者と太鼓に励んでおられ、地域のイベントで披露もされています。
- ・随時、学生ボランティア募集も行っており、先端科学大学・京都産業大学・立命館大学の学生から問い合わせがあり、面談と事業説明を行った上で、地域貢献やボランティア経験をしたいとのことで、当センター事業に参加してもらっています。
- ・団体の方が、当センターの事業に興味を持っていたことで、コラボイベントをする機会ができ、また次年度も協働で行える企画を計画しています。

（4）管理運営

- ・防火管理者の選定（中京消防署にも消防計画を提出済）、建築物の保守管理(日常点検等)、建築設備の保守管理、備品等の保守管理、清掃業務（日々・空調）、保安警備業務、植栽等保全業務等を実施しました。

(5) その他

○ 「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」で実施したものがあれば、その内容を記載してください。

- ・来場者や事業参加の方の声を聞く意見箱を設置し、興味があること、センターへ求めていることなどが聞けました。
- ・地域のイベントや活動団体のワークショップに参加し、交流を深め、当センターの紹介や活動団体の紹介ができたことで、当センターの事業参加に繋がりました。
- ・市民活動が活発になるように、相談業務等で広報支援、助成金や補助金の情報発信を上手く伝え、より良く活動ができるよう支援していきます。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】SDGs 事業（活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： ①7/9 ワークショップ(京都大学)
②9/28・10/13・11/10・12/8 ワークショップ（ソフトバンク）
③7/20 研修会 ④8/7・8/9・8/10 ワークショップ（ディープピープル）
⑤4/22・7/1・10/7・12/2 ワークショップ（ポーノ）
⑥6/24 講演会 ⑦6/7・8/30 ワークショップ
⑧10/1 講演会とワークショップ（光華女子大学）
⑨3/17 中京いきセンフェスティバル
- 2 開催場所： 中京いきいき市民活動センター 会議室・料理室・サロン
- 3 参加人数： ①11名 ②9名 9名 12名 11名 ③6名 ④9名
⑤8名 8名 8名 10名 ⑥11名 ⑦7名 11名 ⑧21名 ⑨49名
- 4 協力団体等：京都大学エコ〜るど京都学生・ソフトバンク・NPO 法人ディープピープル
学生団体ポーノ・京都光華女子大学・京野菜マイスター有資格者平田氏・
京都生活協同組合・大学生ボランティア
- 5 予算： 2,852,500 円 / 決算： 2,856,667 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

地域住民，市民活動団体と連携し取り組む SDG s プロジェクトに取り組みました。

いきいき市民活動センターから発信し，人々への SDG s 意識を高め，自分のため将来のためという重要なことを心に響かせて，活動団体と協働で取組みを企画し、地域の活動の支援と SDGs 参加者の意識を高める目的で開催しました。

- ①京都大学の学生主体で、食品ロスをテーマとし、食品ロス削減について学ぶワークショップを開催し、親子で参加でき「食べられる」部分をすべて使って、焼きそばを作りました。
- ②現在社会を生きやすくするために、ソフトバンクの方と学生ボランティアの協力による、スマホのワークショップを4回開催しました。
- ③小・中学生向けのワークショップをサポートしてくれる大学生と ZOOM による研修会を開催しました。
- ④アクティブラーニング方式で問題解決に向けたアイデシアを企画提案するワークショップを開催し、出来上がった内容を近隣のイベントで発表しました。
- ⑤学生団体ポーノの企画による、食についてのワークショップを4回開催し、子ども達に食について、伝えました。
- ⑥「魔法の質問」を使い、息詰まる子育ての悩みや問題を解決に繋げる講演会を開催しました。
- ⑦京野菜マイスターの資格を持つ料理人と、奥深い「京の伝統野菜」 京野菜について学ぶワークショップを開催しました。

⑧京都光華女子大学の原教授より身体づくりのためのたんぱく質やカルシウムの大切さやとり方をわかりやすく講演頂いた後、LFA Japan 大森氏による災害時でも活用できる、アレルギーのある方に便利な、ポリ袋クッキングを参加者が体験できるワークショップを開催しました。

⑨SDG s 事業に参加された団体や中京いきセンを行き交う団体で、いきセンフェスティバルを開催しました。

2 準備段階での工夫

- ・チラシには OR コードを必ず載せ、読み取りにより、情報が常に見られるようにしました。
- ・協働団体とは定期的に会議やオンライン会議、メールのやり取りを行い情報交換しました。
それぞれの団体の特性を活かし、市民に興味を持たせ参加してもらえるような内容にし、計画的に広報の準備を行い、施設だけでなく病院やお店等にもお願いし、チラシを配布しました。
- ・大学生ボランティアも学校に配布したり、学校のサイトに載せてもらったりして他方からの学生が協力してくれ、事前に研修会を行い、学生が気軽に参加できるようにしました。学生とはメールよりも LINE の反応が良いので、LINE へ繋がってもらい、LINE グループで連絡や日程調整を行い、スムーズに取り組みました。
- ・事前に他の事業の参加者の会話や団体の情報をスタッフで共有しました。
- ・受付では、来場者にセンターをよく知ってもらえるよう、パンフレットや事業のチラシを置き、質問に随時答えられるよう担当者が張り付きました。来場者の中には、利用したい声も聞け、LINE 登録などの誘導も心掛けました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・幅広い層の方に、自分のため将来のためという重要なことを心に響かせて、参加団体との連携を図ります。
 - ・専門的立場からアドバイスを受ける機会と情報共有の場をつくることで、ひとりでできること、みんなのできることへの目標ができ、具体的な活動が見え、幅や質の良い高い取り組みができます。
 - ・参加人数の増加や協働による活動、多種多様なアイディアの取り入れを目的とし、参加者が主体の学習となり、自主性を引き出します。
 - ・それぞれの意見を取り入れ、地域住民に伝え人々の意識改革と自然に SDG s（環境）の達成に向けて一歩踏み出す取り組みとなり、あらゆるひとを巻き込むことで、将来性のあるまちづくりを目指します。
 - ・学生の参加を誘導すること、参画してもらう事で、学生の自主性や自信、責任感を持てる目的が期待できます。

(2) 事業実施による目標の達成度

○ (1) の達成度について自己分析し、記載してください。

- ・子どもから高齢者まで幅広い層の方に参加してもらえる事業となりました。
- ・大学や企業、学生団体の専門的な知識による内容で、質の高い事業となり参加者の満足へ繋がりました。参加者からの反応も良く、継続して、他事業に参加してもらえました。
- ・大学生に協力頂いたことで、それぞれの学生の考えや行動が芽生え、将来の担い手の支援ができました。その後も他の事業に参加される学生もいました。
- ・参加者の主体性を引き出すために、協働団体と連携できました。
- ・最終のイベントでは、様々な団体が自主性を持って交流し合え、センターとしてはサポート体制で取り組みました。

4 今後の抱負

○ 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

- ・少しでも多くの方が SDGs へ関心を持ってもらえる目的で行いましたが、参加されたほとんどの方が満足され、刺激され、意識を深められ、今後も意識し、このようなイベントに参加したいとの声が聞けました。そして繋がった団体やボランティアの方は、やりがいがあり、発信し続けたい思いがあり、自分たちのできない部分をいきセンが補い、協働で取り組みたいとの感想が聞けました。それぞれの相乗効果が期待できているこの取り組みは、継続的に形を変えて取り組みます。
- ・また、SDGs については、従事者が常に外部の情報にアンテナを張り、参加できるイベント等に自ら参加し、自身の知識や見聞をアップデートします。

【事業名】多世代交流事業（サロン事業）

事業の概要

- 1 開催日時： ①「いきいき憩いの場」 毎週水曜日 10:30～12:00
②「ふれあい基地」 毎週土曜日 10:30～12:00
③「ふれあい喫茶」 毎週土曜日 13:00～14:30
- 2 開催場所： 中京いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数： ①467名（50回） ②402名（45回） ③468名（44回）
- 4 協力団体等： キッズベリー・なないろ会・和太鼓サークル・京都すまいるプロジェクト・
ニュービー・布おもちゃ作りサークル・グラスアートサークル・
フラワーサークル・書道サークル・学生団体 Bohno・花園大学学生・
学生団体 JVO 他
- 5 予算： 2,107,500 円 / 決算：2,246,622 円

1 事業内容

○ 事業の内容を具体的に記載してください。

地域で抱える問題も多様化していることからお互いを理解していく交流「多世代交流」できる事業を行いました。孤立しがちな環境で暮らす子育て世帯や高齢者、核家族化や地方から来ている大学生など、家族構成や問題は様々で、外部のコミュニケーションを取ることで解消に繋がりました。リタイヤした高齢者の知恵や大学生の新しい発想や行動力を生かした事業に、より安心して子育てできる環境づくりを展開します。そこで感じる高齢者への生きるための目的要素や現状では得られない多世代から得る情報によって双方にメリットを起こす取り組みを狙いにします。3つの対象者に分け取り組みを実施します。どの取り組みも団体と協働で活動し、活動団体の活動の励み、活性化に繋がります。

①「中京いきいき憩いの場」 乳幼児と保護者×高齢者 協力は子育てサークル・ニュービー・書道サークル・ヨガサークルなど。

内容は昔の懐かしい歌や手遊び・リトミック・読み聞かせ・浴衣の着つけ体験と盆踊り・ヨガ体験・ブリザーブドフラワー体験・レコード鑑賞など。

②「中京ふれあい基地」 小・中学生×大学生 協力は学生団体 京都すまいるプロジェクト・Bohno・花園大学学生・JVO。

内容は工作や体を動かすレクリエーション、お祭りを模した季節のイベント・手作り体験・料理体験・太鼓体験・お出かけ体験・陶芸体験・リユース体験など。

③「中京ふれあい喫茶」 高齢者×大学生 協力は京都先端科学大学学生・花園大学学生・産業大学学生。

内容は麻雀やボードゲーム・スマホの触り方・健康体操・クイズで脳トレ・歌や音楽鑑賞・ものづくり体験・レコード鑑賞など

2 準備段階での工夫

- ・スタッフと協力団体が毎月、会議をして、各年齢層が来て楽しめる内容や自然に打ち解ける向け方、学生が自然に入れるきっかけなど、それぞれに問題点を確認しながら事業に取り組みました。

- ・活動は写真と動画で、わかりやすくし、チラシ、HP や SNS に毎週、情報公開し、繋がりのある方からは、その情報を見て申込みや問い合わせがありました。また、興味のある方は繋がってもらえたら詳しくわかりますと誘導し、そこから申込みされていました。
- ・大学生ボランティアは随時募集し、見学や体験も行い、年間で途中参加もありました。チラシ等は大学にお願いし、配布しました。グループ LINE をつくり、連絡や周知をやりとりしました。昨年に続き、スムーズにやり取りできました。事業の後は、大学生からも感想や思いを聞き、今後に繋げています。
- ・毎週あるので、外にはコルクボード、館内にはホワイトボードにスケジュールを示し、来場者にわかるように、予定表やチラシでわかるようにしていました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・多世代で関わる中でコミュニケーション力やふるまいの向上を図ります。地域の大人と一緒にあって子どもの豊かな体験（人との関わりや伝統文化の行事体験など）を生み出し、活動することの価値に気づき、成長過程にある子どもたちにはとても大切な経験となり、地域で理解も深まることを目標にします。
 - ・共働き家庭や少子化による兄弟の減少などの傾向のある小・中学生に必要なコミュニケーションと人の繋がりがもてる居場所づくりを目指します。大学生は次世代を担う人材の育成を目的とします。
 - ・高齢者の「孤立化」や「無縁化」、「貧困化」などが深刻化するなか、少しでも多くの高齢者が社会的なつながりを持ち、心豊かな生活を送れるよう支援することと、大学生に見られる、異世代間の交流が少なく、社会性や人間関係の乏しさなどの問題解決を目的とします。お互いの足りない部分が補われ、この取り組みでしか得られない機会となり交流の輪に繋がります。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・乳幼児と保護者の間に高齢の方の温かい見守りや声の掛け合いが、子ども達も自然になじめる雰囲気となり、保護者も安心して参加され、経験豊かな話を興味深く聞かれ、まさに多世代交流となりました。
 - ・ふれあい基地で協働できた京都すまいるプロジェクトは毎月 1 回すまいるプロジェクトが主になり、企画・実践にまわり、様々な関りを挑戦してくれました。活動拠点の『WaGaYa』で実施した企画があり、当事業の参加者を独自の活動への誘導もでき、双方にとって良い活動となりました。センタースタッフは企画のアドバイスや広報、現場のサポート役にまわり活動できました。
 - ・大学生が主体となって進めることで、小・中学生と大学生の積極的なやり取りが増え、関係性を築きやすくなっていると考えます。
 - ・ふれあい基地に参加していた中学生から、「自分が取り組んできた『百人一首』をより多くの人に知ってもらい、みんなで遊べるようなイベントを企画してみたい」と企画開催の相談がありました。スタッフが内容の組み立てやチラシ作成・広報等をサポートし、計 3 回の開催に至りました。

- ・ふれあい基地の和太鼓は、個々に体験していた内容から、チームで取り組む内容にリニューアルし、より交流が生まれやすいよう促しました。地域貢献や多世代交流に関心を持つ花園大学の大学生が多数加わり、前年度よりさらに人数が増加し、世代の幅も広くなり、まさに多世代が1つのグループで混ざり合って、体験と交流ができました。また SNS で情報を見られた、和太鼓づくりをされている方から、しめ太鼓を5個寄付して頂きました。参加者はより活動を励まれています。
- ・月、あるいは隔月で継続的に参加することで、準備や片付け、受付等、運営の流れを理解してもらいやすく、回数を重ねるごとに大学生ひとりひとりの主体性が高まってき、参加者へ自ら積極的に話しかけたり、筆談や支えが必要な方がいれば状況に応じて丁寧にフォローしたりと、より良い雰囲気づくりやサポートに努めている様子が顕著に伺えました。
センタースタッフともコミュニケーションの機会が増えたことから気軽に話せる関係性ができ、談笑や相談、報告などをフラットにできる環境を維持できています。
- ・どの取り組みも、市民活動団体が快く参加され、意欲もって企画され、活発な動きが見られました。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
- ・様々な世代の方との交流で、それぞれの良さが入り交り、他では体験できない事業なので、協力団体・参加者・大学生、それぞれの意見を取り入れ、今後も企画します。また、新しく繋がる個人や団体も大切にし、人が交流し合える仕組みを継続します。広報では、HP と SNS は継続しつつ、新しい手段で取り組めるよう検討します。
- ・この事業に参加や協働できたことをきっかけに、新しい活動やより良い活動へ繋がられるよう、新しい情報を取り入れ企画・運営していきます。

※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】市民活動応援事業（活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： ①8月16日（水） 11:00～16:00
②10月28日（土） 10:30～12:00
③11月25日（土） 10:30～12:00
④1月31日（水） 15:00～16:30
- 2 開催場所： 中京いきいき市民活動センター 会議室
- 3 参加人数： ①73名 ②37名 ③12名 ④14名
- 4 協力団体等： なないろ会・いきいきクラブ・京都工芸繊維大学学生・
京都すまいるプロジェクト・いすヨガサークル・絵画サークル
- 5 予算： 88,000円 / 決算：95,040円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

市民活動団体やこれから始めようとする人と、組織を構成し互いの活動を応援する事業を行いました。日常の不安や問題・成功例などを話しまとめ、そこから問題を解決できるワークショップや交流会を行いました。

- ①②孤立・ひきこもり・生きづらさ・自傷、自殺を防止するために人との交流を目指したイベントを開催しました。
- ③講演会「やる気を引き出すセミナー」魔法の質問のお題に沿って、グループディスカッションを行い実生活に活かせる体験をしました。
- ④イベントとワークショップで参加された方と個々の活動の近況会を行い、双方の良い点や悪い点、今後の活動に繋がる話しをしました。

2 準備段階での工夫

- ・事前の話そう会では、グループに分かれ、個々で自由に意見交換できるよう形式で進めました。お互いの問題を知ること、それぞれの活動を知る機会になりました。イベントに繋げるためにも双方の活動を知り、それぞれが協働で取り組める企画へ繋がられました。
- ・イベントでは、「今日は楽しく」を1つの目標にし、それぞれの得意分野を発揮できるよう企画しました。
- ・ワークショップに参加される子育て世代の方が、子供を連れて参加できるように、サポートできる場所と子育てサークルの方にも協力頂き、サポートしました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

- 事業を実施することで期待される効果や, 目標としたことなどを記載してください。
 - ・市民活動や個人の方で、身近な困りごとを話す機会を持つことで、他の人の考えを聞く機会ができ視野が広がり、活動や行動の問題解決につながります。
 - ・グループディスカッションすることで、それぞれの思いや考えを伝え、みんなの意見で企画に繋げることができます。
 - ・全く違う活動や環境の方の話を聞くことで、今まで気づかなかったことを発見し、見直す機会をもてます。
 - ・問題から企画に繋げ、それぞれが前向きな考えとなり、今後の活動意欲に繋がります。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・グループに分かれての交流会では、それぞれに困りごとを話し合い、問題解決に向け、自主的に意見を言い合えることができ、解決に向けた取り組みとして、イベントとワークショップを計画し実行できました。
 - ・このイベントにより、貧困や家庭環境で救いや援助を求めても見落としてしまっているかもしれない子ども達を外出させ、日常を忘れさせる機会を作ろうとした活動団体の思いを、形にするサポートができました。
 - ・活動団体と他団体をマッチングさせることで、より良い活動にもなり、また活気づき、参加者が賑わうイベントを作ることができました。
 - ・参加団体の主体性を引き出すために、協働団体の得意分野を活かせるイベントに結びました。特に新しく参加された京都工芸繊維大学学生や京都すまいるプロジェクトの学生は、企画・運営を経験し、今後の活動意欲にも結びました。
 - ・様々な団体が自主性を持って交流し合え、センターとしてはサポート体制で取り組みました。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・グループディスカッションは重ねるごとに、意見も言いやすく、活発になるので、その形式で行い、センターは団体間のつなぎ役で努めていきます。
 - ・参加された団体とは良い意見交換ができ、協働で取り組める機会が持て、問題解決に向け前進できる事業となりました。
 - ・団体のサポートができ、参加された方も喜んでおられ、気持ちが前向きになれた感想が聞け、この取り組みは意味のある事業になり、今後も、内容を変え、市民に寄り添い、応援、サポートできる取り組みを企画していきます。

【事業名】持続可能なまちづくりと地域の活性化事業（活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： ①5月19日（金）18:30~20:00
②6月23日（金）18:30~20:30
③12月8日（金）18:30~21:00
④3月18日（月）18:30~20:00
- 2 開催場所： 中京いきいき市民活動センター 会議室 アスニー京都
- 3 参加人数： ①11名 ②14名 ③13名 ④12名
- 4 協力団体等：NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝・イーチ合同会社・
株式会社コスト・くらら庵こども食堂・エール子ども食堂
アート福祉プロジェクト「HARETOKE」他
- 5 予算： 210,000 円 / 決算： 224,740 円

1 事業内容

各まちづくり協議会の代表者が集まり、各団体の活動の現状と課題などについて話し合いました。共通課題としては、共働きや転勤者、マンションや集合住宅による閉鎖的な環境の中、近所同士の会話が減り、孤立しがちな環境で暮らす子どもの状況や子育て世代の親同士が安心してできる居場所や高齢者家庭や独居世帯や障がい者のいる家庭の居場所づくりの必要性に着目しました。若者や子育て世帯等と呼び込み賑わいを創出し、地域の活性化をはかる内容を意見交換しました。

①リモートによる意見交換会

②③専門家や先進的なまちづくり活動に取り組んでいる方を招いた学習会

④まちの課題発見から、生活をより良くするためのワークショップ（マップ作り）に取り組みました。

2 準備段階での工夫

- ・他都市で活動されている方の話しや幅広い団体間で意見交換を目的とするため、リモート形式で行いました。
- ・意見交換会の後、整理した内容を、メール等で共有しました。
- ・前年に繋がった他都市で活動している市民活動団体と連絡し、視察をしたことで学習会を行うことができました。また違う活動団体に繋がり、幅広く情報収集することができました
- ・意見交換と学習会が終えた後、問題解決に結ぶ、ワークショップを企画でき、各団体に持ち帰ることができ、今後の課題解決に向け前進できました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

- 事業を実施することで期待される効果や, 目標としたことなどを記載してください。
 - ・まちづくりという同じ目的を持った者同士で意見を出し合い、共有することで、いくつもの案が得られ、解決への対策に繋がります。
 - ・各団体と協働で行う事業によって、コミュニケーションが築けられ、まちづくりへの重要性を意識づけられ、内容を高めることができます。
 - ・経験ある方の学習会によって、行動意欲が増し、より良い事業へと繋がります。

(2) 事業実施による目標の達成度

(1) の達成度について自己分析し, 記載してください。

- ・意見交換会や団体間が繋がったことで、互いの考えや問題点が確認でき、目的が見え、ワークショップができ、解決に向け前進できる機会となりました。また、自主性が高まるように定期的に連絡を取り活動を継続していくことを確認されました。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・日常生活の中に、誰でも不安や問題があり、1人では解決できないが仲間をつくることで解決に結ぶことがわかり、つなぎ役として、いきセンがサポートしていきます。
 - ・まちづくりのリーダーは、連携が重要で、新たな団体と、連携を図るサポートをしていきます。より良い活動になるよう、いきセンに入る情報を共有し、活動の輪を広げる支援を図っていきます。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

利用料金の収入実績

令和5年度実績：円（前年度比－）

〔内訳 会議室等：2,540,400円（前年比115.9%）
付属設備：0円 ※自主事業分を除く
スモールオフィス：0円〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

（1）全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

（2）センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

（1）全センター共通窓口サービス

項目①

たいへん満足 40.5% 満足 55.4% 不満% たいへん不満 0.0% 無回答 0.0% アンケート回収数 100%

項目②

たいへん満足 39.6% 満足 59.4% 不満 1.0% たいへん不満 0.0% 無回答 0.0% アンケート回収数 10「0%

項目③

たいへん満足 40.6% 満足 59.4% 不満 0.0% たいへん不満 0.0% 無回答 0.0% アンケート回収数 100%

項目④

たいへん満足 40.6% 満足 58.4% 不満 1.0% たいへん不満 0.0% 無回答 0.0% アンケート回収数 100%

項目⑤

たいへん満足 42.6% 満足 57.4% 不満 0.0% たいへん不満 0.0% 無回答 0.0% アンケート回収数 100%

項目⑥

たいへん満足 39.6% 満足 60.4% 不満 0.0% たいへん不満 0.0% 無回答 0.0% アンケート回収数 100%

項目⑦

たいへん満足 39.6% 満足 60.4% 不満 0.0% たいへん不満 0.0% 無回答 0.0% アンケート回収数 100%

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

(2) センター独自アンケート

○結果の概要を可能な範囲で記載してください。(例：概ね満足 等)

- ・貸館利用時の備品として、無料で卓球台・有線マイク・Bluetooth スピーカーを貸出しとして増やしています。ヨガやダンスなどでスマートフォンから Bluetooth スピーカーに飛ばして音楽を流すなど、利用される事が多いので、利用者から大変喜ばれることが多く、卓球台も若い世代から高齢者まで、少人数で予約されて有意義に利用出来ているのでありがたい。などの声をいただいています。無料 Wi-Fi を設置し各部屋に IP アドレス・パスワードを掲示する事で利用者の方に周知でき、利用時に便利になったと好評でした。
- ・貸館利用申請については、電話・メール・SNS で仮予約システムが出来るようにしたため、とても便利に利用できるようになった事も喜んでいただいています。

3 意見等への主な対応状況

- 利用者からの意見で対応したものを記載してください。
 - ・初めて来館される方には、中京いきいき市民活動センターがどのような施設なのか理解していただけるように、パンフレットを渡して説明したり、利用団体代表の方へ複数枚渡す事で周知してもらい、その際に不明な点や質問にも答えるなどしました。
 - ・イベント等の案内を分かりやすく個別にチラシを作成し、来館の際に口頭で説明する事で理解していただき、参加に繋げることができました。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

仮予約システムの導入・無料 Wi-Fi の設置については、利用者からの要望を確実に受け入れる事ができているように思います。利用頻度は高く、各部屋に IP アドレスやパスワードを分かりやすく掲示している事も利用者から好評です。
- 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

当センターにはエレベーターが設置されていない為、高齢者や身体が不自由な方は 1 階会議室のみの利用となり、利用者からの強い要望は会議室や料理室を利用出来るように、エレベーターの設置が課題であります。併せて、会議室の 1 部屋でも防音設備を備えられるようになれば、利用者にとって利用の幅が広がり、新規の利用者増加に繋がると考えます。
- 次年度に向けた対応にについて記載してください。
 - ・利用者が何を求めて、中京いきいき市民活動センターを利用されるのか。など、思いを聞けるように従来通り意見箱を設置し、常に利用者の思いを聞ける環境づくりを心掛けます。
 - ・利用団体の特技や今後やってみたいと思う事などに耳を傾け、中京いきいき市民活動センターがサポートしながら利用団体主導の事業やイベントが行えるような環境づくりにも携わっていけるよう努めます。
 - ・今後も情報発信等については今年度同様、SNS を更に良いものとして広められるよう引き続き行います。

京都市 中京いきいき市民活動センター
指定管理料等に関する収支決算書（令和5年度分）

指定管理者名 特定非営利活動法人
あかしやふれあいネットワーク
代表者名 理事長 岡本 賢治

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		15,658,990	15,658,990	0
利用料金収入		3,000,000	2,540,400	459,600
	会議室等	3,000,000	2,540,400	459,600
	付属設備			0
その他収入	光熱水費分担金			0
	個別事業参加費	403,000	191,500	211,500
当期収入合計		19,061,990	18,390,890	671,100
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		9,301,990	8,958,330	343,660
	常勤職員	7,843,000	7,542,531	300,469
	非常勤職員	1,458,990	1,415,799	43,191
光熱水費		1,520,000	1,069,117	450,883
	電気代	800,000	605,071	194,929
	ガス代	600,000	397,322	202,678
	水道代	120,000	66,724	53,276
施設管理費		1,420,000	1,546,694	▲ 126,694
	樹木剪定	60,000	66,000	▲ 6,000
	定期清掃等	350,000	491,160	▲ 141,160
	建築・空調・受水槽・高架水槽及び点検	500,000	515,510	▲ 15,510
	一般廃棄物処理費	50,000	36,048	13,952
	家用電気工作物	280,000	266,376	13,624
	警備保守	180,000	171,600	8,400
事務費		600,000	578,659	21,341
	電話代	150,000	133,760	16,240
	通信費（インターネット・郵便切手代）	195,000	187,553	7,447
	交通費	5,000	2,370	2,630
	消耗品費	250,000	254,976	▲ 4,976
修繕費		300,000	0	300,000
	建築修繕	300,000		300,000
備品購入費（5万円以上の物品）			0	0
				0
租税公課		750,000	951,900	▲ 201,900
	消費税	750,000	951,900	▲ 201,900
その他		17,000	15,420	1,580
	賠償責任保険保険料	17,000	15,420	1,580
施設運営業務支出合計		13,908,990	13,120,120	788,870
2. 事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,150,500	3,176,447	▲ 25,947
	SDGs事業	2,852,500	2,856,667	▲ 4,167
	市民活動応援事業	88,000	95,040	▲ 7,040
	持続可能なまちづくり事業	210,000	224,740	▲ 14,740
サロン運営・活用事業費		2,107,500	2,246,622	▲ 139,122
	多世代交流事業	2,107,500	2,246,622	▲ 139,122
その他	事業実施業務繰越			0
当期支出合計		19,166,990	18,543,189	623,801
当期収支差額		▲ 105,000	▲ 152,299	47,299

令和5年度 事業報告書 東山いきいき市民活動センター

【指定管理者：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 8 名（うち常勤 3 名、非常勤 6 名）

【人材育成の取組】

- ・各スタッフの専門性に合わせた OJT の実施
- ・窓口対応向上のための全体及び個別レクチャーの実施
- ・定期的な個人面談の実施
- ・より専門性を高めるための外部研修の奨励

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
562	538	580	626	535	622	596	629	519	511	598	581

(年間)

6,897 件（前年度比 94.9%）

イ 利用状況

総数は昨年度比で約 90%と下がっているが、昨年度の 4 月～6 月が利用料金変更前に申込があった件数なので、全体としては横ばい傾向が見られます。昨年度同様、狭い部屋や用途が会議目的のみと限定している部屋については利用については回復の兆しはあまりみられず、これらの部屋の利用状況を改善させていくという課題が生じています。

ウ 利用促進に向けた取組

ウェブ予約の団体利用数も伸びており、好評いただいています。また、団体登録もウェブでの受付可能としたことが新規利用団体獲得につながり、順調に新規登録団体の数も増加しています。

エ その他

サロンについては、昨年度から横ばいの利用数となっています。当センターの事業で積極的に使用し、利用数の維持に努めています。しかし、令和 6 年度で閉鎖されることもあり、新たに設備投資などにはできないので、今あるものを有効活用し、利用を促進していきたいと考えています。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

Facebook を活用した情報発信に力を入れてまいりました。投稿内容としては、センター認知度につながる情報に加え、センター事業に関する投稿や東山区にまつわる人や場所やものやイベントなどの発信だけでなく、センタースタッフの人となりを知っていただき、気軽に窓口相談いただけるよう工夫を行いました。

イ 取組の効果

各事業の報告を発信し続けたことで、それぞれの事業への参加者の数も徐々に増加していきました。

(4) 管理運営

今年度も通常通り建築物の保守管理、保安警備業務、清掃業務、植栽保全、エレベーター保守点検等を実施しました。

(5) その他

POS レジを導入したことで、貸館業務の大幅な業務効率の改善を行うことができ、効果継続できています。利用者からも手続きの速度が上がって良くなったとお褒めの言葉をいただきました。

その他にも、これまでセンター近隣の古川町商店街との連携も密に進めており、「破片アートプロジェクト」などの連携事業や商店街での各種お祭りなどへのブース出展なども行ってまいりました。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】市民の「やりたい」を形にする対話型ワークショップ創出事業～東山しゃべくり大作戦～

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年5月28日（日）10時～12時
令和5年8月27日（日）10時30分～12時30分
令和6年3月16日（日）10時30分～12時30分
- 2 開催場所：みらくまの／東山いきいき市民活動センター 集会室
- 3 参加人数：のべ100名
東山まちじゅう図書館／まちづくりアドバイザー天岡さん
- 5 予算：920,000円 / 決算：708,125円

1 事業内容

東山区内において、地域やまちづくりなどを含めた公益的な取り組みを行っている・または行いたい方々のつながりの場があまり存在しません。東山区の盛り上げ・新たな活動の担い手・既存の活動の担い手とのつながりの機会創出を目的とした「東山しゃべくり大作戦」を実施しました。参加者より、今日話してみたいことや、今取り組んでいること・これから取り組みたいことなど、トークテーマをその場で募集し、集まったトークテーマごとに参加者が分かれてその場限りのグループを作って、そのトークテーマについて話し合っていました。

2 準備段階での工夫

当センターのスタッフだけで運営するのではなく、東山区と一緒に盛り上げたいと考えている「東山まちじゅう図書館」の小原さんと共に準備を進めていきました。また、区役所との連携を取るために、まちづくりアドバイザーの天岡さんにも運営メンバーに加わっていただきました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

元々は区役所で実施されていた「まちカフェ」を継承し、年間4回程度、各回15名程度の参加者を見込みながら、センターの存在を知らない層にセンターの存在の周知と新たな担い手の発掘とネットワークづくりを目標に掲げていました。

（2）事業実施による目標の達成度

回を重ねる事に固定参加者も増えてきており、自由に対話を楽しむ場としての成果は出てきていると考えます。また、運営に地域の子どもたちを巻き込むことができるようになりました。子どもたちの社会参画活動の場としても機能し始めています。

4 今後の抱負

成果としては定期的に参加者も見込まれるようになってきたというものがありますが、一方で参加者の層が、①とりあえず話したい人②ここで同じくらいの熱量で活動しているプレイヤーと繋がりたい人、の二極化しており、①については満足度が高い場になっているが、②に関しては不満を感じるような場になってきてしまっている現状です。元々の目的は①であったので、②に対応する場が求められてきていると感じており、今後については②のための場を設けていきたいと考えています。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域の学び直しの場づくり事業「みんなの学校ごっこ」

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年9月23日（土）10時～17時、24日（日）10時～17時
令和6年3月10日（日）13時～16時
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター 全館（9月）多目的ホール（3月）
- 3 参加人数：延べ500名程度（参加者）延べ72名（センセイ参加者）
- 4 協力団体等：市民より公募の実行委員15名
- 5 予算：1,050,000円 / 決算：1,183,779円

1 事業内容

みんなの学校ごっこは、まちの方々の知識やスキルを学びに変え市民活動への参加を促すとともに新たな活動の一助となることを目的に実施しています。

まちのみなさんのスキルをセンセイとして教え、まちのみなさんが生徒になって学び合い教え合う場として開催しています。今年度は2回9月と3月に開催しました。

今年度も実行委員会を組織し、公募で集まった市民の方たちと事業を構築していきました。

2 準備段階での工夫

公募での実行委員会方式を採用し毎月の会議を重ね実行委員が発案し実施する企画や開催前のイベントなどを行ないました。また実行委員が考案したインスタグラムを用いた広報活動も積極的に活用しました。開催後には参加者同士で振り返りを行う会を実施しました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

本事業の目標は事業に参加することで市民活動の新たなプレイヤーを創出することにあります。センセイとして参加しスキルやノウハウをまちに還元する、生徒として市民活動の一企画に参加し市民活動に入門する、実行委員として市民活動の企画を担い実行する人材を輩出することの3つを軸に新たな市民活動プレイヤーの創出を目標に事業を行ないました。

（2）事業実施による目標の達成度

今年度も多くの方がセンセイとなりました、年間70名以上の方がセンセイとして授業を開講し、事業を担うプレイヤー達が自身で考え実行していく取り組みも増えていき規模も昨年を上回るものとなり一定の事業効果をあげることができました。

○参加者の声：実行委員として参加し、仕事以外での役割を楽しみながら行うことができ、自身の成長にもつながった。センセイとして参加しました、自分の活動が誰かのためになるとは思っていなかったのでとても嬉しかった。

4 今後の抱負

よりいっそう多様な人がプレイヤーとなるような仕組みを構築にしていきたい。また東山いきいき市民活動センターだけではなく東山区の場所にもこの取り組みを広げていくことでより東山区に根付いた事業にしていきたいと考えています。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】地域課題・社会課題受発信事業(メディアセンター事業)

事業の概要

- 1 令和5年4月～令和6年3月(月1回程度)
- 2 開催場所: 東山いきいき市民活動センター
- 3 参加人数: ①各回5～10名程度②3名の市民ライター③各回10名
- 4 協力団体等: 岩崎温、岡泰平(映像クリエイター)
- 5 予算: 1,600,000円 / 決算: 1,773,016円

1 事業内容

① 動画製作集団の組織化「Social Echoes」

ソーシャルグッドな動画を制作し発信することで新たな地域活動やトレンドの表出と動画の発信の担い手の創出による新たな市民活動の担い手創出とを同時に実施しました。月に1回程度の定例会議でメンバー同士の交流・技術の向上・動画企画の立案などを行っていました。

② WEBメディア「iINA」の発行

『あなたのいいなが、まちのいいねに…』をテーマに、WEBメディア「iINA」は京都市東山区を中心に、市民の方に「それイイな、やってみよう」と思えるような、地域で活動する人の考え方や取り組みを発信しました。今年度は2名市民ライターを輩出し、それぞれ1本ずつ記事を作成していただきました。

③ 動画スクールの開校

初めて動画制作をおこなう方向けに動画スクールを開講しました。スマートフォンのみで完結するよう講座を構築し、卒業制作としてソーシャルグッドな動画を作成することで社会問題の発信にも寄与しました。

2 準備段階での工夫

準備について、①では、2名の映像クリエイターに監修いただきながら、当センタースタッフと共にプロジェクト運営を担っていただきました。②では、ライターをやってみたい市民を募集し、共に話し合いながら記事作成を進めていきました。広報については「activo」というボランティア募集サイトを活用することで、毎月定期的に2、3名の参画希望者がありました。③については各回定員に達するなど高評いただき、数名ではありますが「Social Echoes」への流入も見込むことができました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

①では、動画制作を通じて新たな市民活動の担い手の創出を目標とし②では市民ライターの育成と記事の発行③では①への接続を目標としていました。

(2) 事業実施による目標の達成度

①について新規のメンバーや実施回数については概ね目標としていた部分は達成できようと思います。他の事業とも連携し、動画制作の機会も今年度は増えたように考えています。②についても参加者数に関しては目標を達成できたように思う。

4 今後の抱負

動画制作をより多く行い発信の頻度を上げていきたい、定期的に動画を生み出せるように事業内容を構築していきたいと考えています。③については参加者の動画制作を難しいことであると感じられている方がおおいだったので今後は制作の難易度を下げ、多くの作品が生まれるような仕組みを作り、①に関わっていく人たちを増やしていきたいと考えています。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】地域課題・社会課題受発信事業（メディアセンター事業）

「インターネットラジオ番組：ちょっとご縁がありまして」

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年年4月～令和6年3月(放送回数：12回・総再生数：734回)
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター
- 3 参加人数：のべ20名
- 4 予算： 0円 / 決算： 0円

1 事業内容

東山いきいき市民活動センターでご縁が繋がった「ちょっと面白いヒト」をお呼びして、その方の活動だけではなく、活動を始めたきっかけや背景を深掘りしてお聞きする音声配信番組です。配信媒体は、現在のところ stand.fm と Facebook を使い、このラジオを聞いた人が、活動の第一歩や新しいご縁に繋がる機会の創出を目的としています。

<https://stand.fm/channels/613ef65e7de6f0a0e09cbbce>

2 準備段階での工夫

前もって利用団体さまや活動団体にお話を伺い、活動の PR や発表会などの告知、メンバー募集を効果的にできるようなタイミングを設定しています。また、聞き手となるナビゲーターを公募でも募集し、実際に活動を行っているゲストとお話することで市民活動を間近で感じられる機会を設けています。

協力団体：協力団体：チーム KUSABI・Roomie・八尾廃校図書室・キッズバリスタ・S.A.I Foot ball club

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

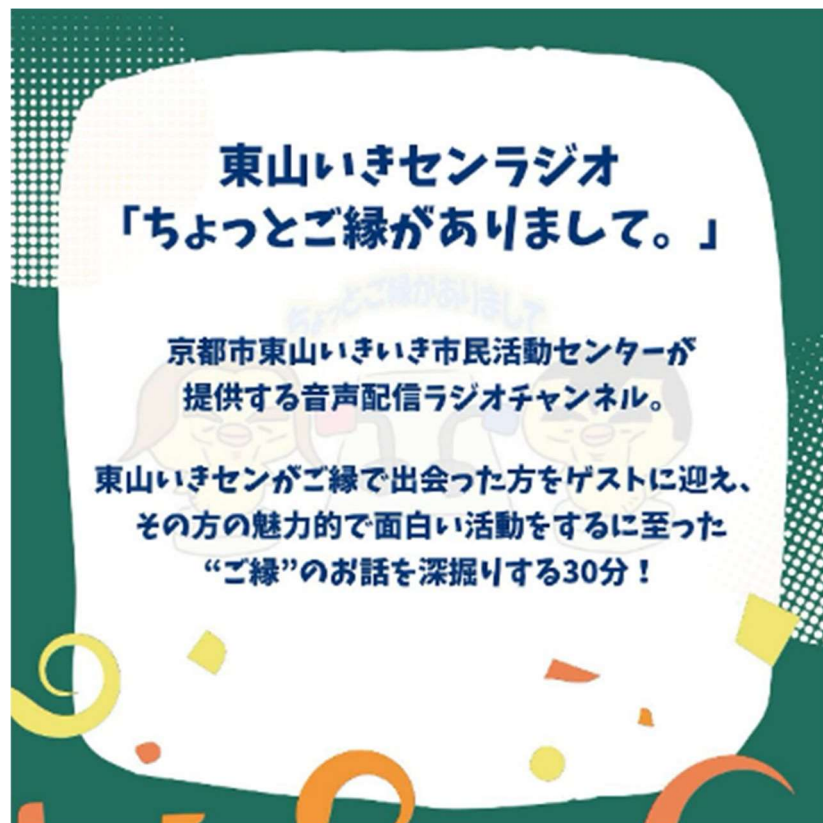
京都で活動する様々な活動団体の個人に焦点を当て、「なぜその活動をしているのか」「その活動をするようになったきっかけは何か」「どこに心が動いたのか・その活動の魅力」を紐解くことで、その人らしさや活動への思いが聞き手に素直に伝わり、また親近感も感じられると考えました。また、映像ではなくラジオ配信にすることで、ゲストへのハードルの低さを設け、話す内容により集中してもらうことを狙いました。このラジオを聞いた人が新たな活動の第一歩を踏み出せたり、新しいご縁に繋がる機会の創出を目的としています。

（2）事業実施による目標の達成度

登壇していただいたゲストの方々から、「なかなか自分が活動を始めたきっかけを深掘りされる機会はないのでいい機会となった」「いつも一緒に活動しているメンバーが何をきっかけに始めていたのかを知れて面白かった」とお答えいただきました。ボランティアナビゲーターも8名となり、ラジオへの関心やボランティアとしての関わりやすさなど、市民活動に触れる機会の創出にもなっていると感じます。

4 今後の抱負

引き続き、月に2名のゲスト収録を目指し、センター利用の団体に声をかけていき、外部の方へ活動をより広く知っていただくための一助とします。また、広報活動の1つのツールとしての音声配信のノウハウの伝授も広く行なっていけたらと思います。



2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】地域の他世代交流拠点としてのサロン運営事業

「e スポーツ・アナログゲームを通じた世代間交流事業」

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年4月～令和6年3月（月1回）
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター ふれあいサロン
- 3 参加人数：述べ80名程度 実数各回6名（団体）
- 4 予算：620,000円 ／ 決算：520,696円

1 事業内容

e スポーツを通して、多世代の交流をおこなうことを目的に事業を行いました。会場はふれあいサロンを使用し月1回程度、開催しました。

2 準備段階での工夫

今年度も引き続き大学生のボランティアと協力し e-sports の経験がなくとも参加しやすいように工夫して実施しました。新たに e スポーツを多世代で楽しむこと広めていく東山いきいき市民活動センター発の e スポーツチーム「Team おいなり」を組織しました。また多く方が集まる東山区内のイベントへ出展しました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

高齢の方だけでなくふれあいサロンで子供や大人も場所を活用し交流ができることと e スポーツがただのゲームではなく競技性のあるもの、どなたでも楽しむことができるということを認知してもらうことを目標に行いました。

（2）事業実施による目標の達成度

小学生や大学生、高齢の参加者など様々な世代が参画し交流したことで目標が達成できたように考えています。地域の子供たちの見守りや活躍できる場を作ること社会問題にも寄与できたと考えます。

また e スポーツの利活用として今年度も東山区のいくつかの学区の自治会のレクリエーションの一つとして行い、普段 e スポーツとは縁遠い方たちにも楽しんで取り組めるものであると感じていただけることができました。

4 今後の抱負

今年度はふれあいサロン以外でも活動することができ、多くの方に e スポーツを体感していただくことができた。引き続き地域の中で請われるようなコンテンツを提供していきたいと考えています。

また次年度についてはチームとしての活動を活発におこない、多世代がつながれる e スポーツチームとして地域交流の一助として活動していきます。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】地域の多世代交流拠点としてのサロン運営事業

「装いのアトリエ」

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年4月～令和6年3月(計12回)
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター ふれあいサロン
- 3 参加人数：76名
- 4 予算： 680,000 円 / 決算：694,251 円

1 事業内容

多世代交流拠点（ふれあいサロン）にて、ものづくりワークショップを通じた多世代の交流や居場所づくりを月に一度行います。ワークショップに参加することで、異なる世代の人々が集い、交流やコミュニケーションが生まれたり、手作りの楽しさや喜びを共有することができる場をつくれます。

2 準備段階での工夫

参加者間の交流がより濃いものになるよう少人数制での募集とし、顔の見える関係性が作りやすい環境づくりにしました。季節に合わせた素材や作品づくりを心掛け、作る時間だけでなく、作ったその後も参加者みんなで楽しんでいただけるような作品設定を行いました。また、地域の方や、ものづくりに興味がある多様な方に届くよう、広報方法はいきセンのFacebook ページ・Instagram と館内掲示が主です。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

参加者が異なる世代の人々と交流し、新たなつながりを作り出すことを目指し、参加者や地域の人々が交流し、地域とのつながりを深めたり、世代を超えた交流を行うことを狙いました。そのため、老若男女参加しやすいワークショップ内容の設定や、夏休みには子ども向けの企画を行いました。東山区以外の参加者だけでなく、地域の高齢者や子どもたちが参加し、また観光にきていた海外のご家族も参加され、国と世代を超えた交流が行われました。

（2）事業実施による目標の達成度

月に一度、新しいものづくりのスキルを学びながら話ができたり交流をもてる機会というのは貴重であり、またお一人住みの高齢者にとって、多世代との交流の機会はなかなかないため、その場においてお話をするだけでも活力になるようです。また、海外からご家族での参加があった際には、かつて翻訳者としてお仕事をなさっていた方が思いがけず自身の力を発揮され、より円滑なコミュニケーションを取ることができました。

4 今後の抱負

“ここに来ればみんなと会える、話せる、交流できる” ような居場所となる場づくりを引き続き意識します。また、少人数制でありながらも様々な方にご参加いただけるような仕組みを考え、海外の方にも興味をもっていただけるようなものづくりを行います。

事業風景の写真



3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：12,256,282 円（前年度比 105%）

内訳 会議室等：11,110,242 円
 附属設備：560,280 円 ※自主事業分を除く
 スモールオフィス：585,760 円

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

① 案内表示は分かりやすかったですか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
44%	55%	1%	0%	0%

② あいさつやお声がけはきちんとできていましたか

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
50%	48%	2%	0%	0%

③ 身だしなみは業務にふさわしいものでしたか

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
49%	48%	3%	0%	0%

④ 表情や態度は感じが良かったですか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
51%	46%	3%	0%	0%

⑤ 言葉づかいや説明は、親切で、ていねいでしたか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
53%	45%	2%	0%	1%

⑥ 説明は的確で分かりやすかったですか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
54%	44%	2%	0%	0%

⑦ 整理、整頓は行き届いていましたか

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
47%	48%	4%	0%	1%

3 意見等への主な対応状況

館内スリッパが古くなっているという要望があったので、今年度で全て新しいスリッパに入れ替えました。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

今年度も多様な方々とのコミュニケーションのうえ、それぞれの事業を進めてまいりました。その中から、新たな事業のタネも生まれてきており、少しずつ進化・発展させていくことができたと感じています。

次年度については、これまで当センターで培ってきた事業を横展開させたり、センターを飛び越えて、東山区内各所で事業を行うことで東山区全体の市民活動を盛り上げていきたいと考えています。その例として、「公共空間の見直し」をテーマに、東山区図書館と連携し、図書館の新たな価値を見出していく取組みを計画中です。また、当センターで実施していた「しゃべくり大作戦」も図書館で行うなどの横展開も進めてまいります。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

特になし

京都市東山いきいき市民活動センター

指定管理料等に関する収支決算書（令和５年度分）

有限責任事業組合まちとしごと総合研究所

代表組合員 岡本卓也

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		19,923,050	19,923,050	0
利用料金収入		10,571,840	12,256,282	1,684,442
その他 収入	会議室等	9,500,000	11,110,242	1,610,242
	スモールオフィス及びロッカー	1,071,840	585,760	▲ 486,080
	付属設備（自主事業を除く）		560,280	560,280
	光熱水費分担金		219,580	219,580
	個別事業参加費	60,000	31,500	▲ 28,500
				0
				0
				0
当期収入合計		30,554,890	32,430,412	1,875,522
【支出の部】				
１．施設運営業務				
人件費		13,000,000	14,641,552	▲ 1,641,552
	職員3名	8,000,000	8,259,200	▲ 259,200
	非常勤職員6名	4,000,000	4,542,326	▲ 542,326
	通勤手当	0	773,540	▲ 773,540
	法定福利費	1,000,000	1,066,486	▲ 66,486
	福利厚生費	0	0	0
光熱水費		5,300,000	5,001,267	298,733
	電気代	4,000,000	3,271,300	728,700
	ガス代	1,000,000	1,348,416	▲ 348,416
	水道代	300,000	381,551	▲ 81,551
施設管理費		5,000,000	2,678,966	2,321,034
	法定点検、廃棄物処理費等	5,000,000	2,678,966	2,321,034
				0
				0
				0
				0
事務費		1,882,250	2,448,476	▲ 566,226
	消耗品費		708,766	▲ 708,766
	通信費		486,311	▲ 486,311
	印刷費		92,500	▲ 92,500
	新聞図書費		4,100	▲ 4,100
	リース料		239,849	▲ 239,849
	保険料		32,250	▲ 32,250
	支払手数料		55,836	▲ 55,836
	支払報酬		721,104	▲ 721,104
	旅費交通費		107,760	▲ 107,760

修繕費		500,000	866,391	▲ 366,391
	空調修繕		148,641	▲ 148,641
	コンセント修繕		114,950	▲ 114,950
	給水設備修繕		11,000	▲ 11,000
	消防設備修繕		591,800	▲ 591,800
				0
				0
備品購入費（5万円以上の物品）			0	0
				0
				0
				0
租税公課			1,725,882	▲ 1,725,882
	消費税		1,725,882	▲ 1,725,882
				0
				0
その他			0	0
				0
				0
施設運営業務支出合計		25,682,250	27,362,534	▲ 1,680,284
2. 事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,570,000	3,664,920	▲ 94,920
	地域の学び直しの場づくりと地域活動の担い手創出事業	1,970,000	1,891,904	78,096
	地域課題・社会課題受発信事業（メディアセンター事業）	1,600,000	1,773,016	▲ 173,016
				0
				0
				0
サロン運営・活用事業費		1,300,000	1,214,947	85,053
	地域の他世代交流拠点としてのサロン運営事業	1,300,000	1,214,947	85,053
				0
				0
その他	事業実施業務繰越			0
事業実施業務支出合計		4,870,000	4,879,867	▲ 9,867
当期支出合計		30,552,250	32,242,401	▲ 1,690,151
当期収支差額		2,640	188,011	185,371

令和5年度 事業報告書 下京いきいき市民活動センター

【指定管理者：有限責任事業組合 まちとしごと総合研究所】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 8 名（常勤：1 名、非常勤：7 名）

【人材育成の取組】

- ・新採職員に対する研修（窓口対応・貸館業務等に関する OJT）
- ・センター運営に関する全体研修（年 1 回）
- ・定例スタッフミーティング（月 1 回）

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
285	284	300	299	263	305	358	364	278	250	300	354

(年間)

3,640 件（前年度比 108%）

9,529 時間（前年度比 103%）

イ 利用状況

全体的に利用状況は好調に推移しています。

一昨年度、コロナによる閉館の影響がなかった 10～3 月の月あたりの平均利用件数を比較すると、

【316 件（R3 年度・10～3 月 月当たりの平均件数）】

【271 件（R4 年度・10～3 月 月当たりの平均件数）】

【317 件（R5 年度・10～3 月 月当たりの平均件数）】

となり、コロナ禍以前の利用状況に戻ってきつつあることがうかがえます。

ウ 利用促進に向けた取組

どうしても部屋を取りたいが、すぐにはセンターに来れないという方のニーズに応じて、「電話での仮予約」制度を開始しました。開始当初から利用が多く、年間 480 件の申請がありました。

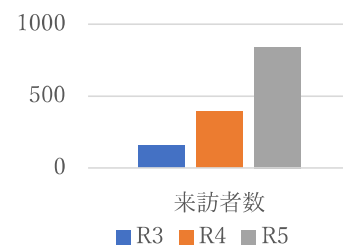
また、若年層の利用を呼び込むために「Instagram」を開設し、定期的な情報発信に努めました。必ずしも直接的なセンターの利用増につながったとは言えませんが、若年層に対するセンターの認知度を高めることにはつながりました。

エ その他

サロンの年間来訪者数は 840 名となりました。

昨年度の 2 倍以上の方にご利用いただきました。

目標としていた 1000 名には届きませんでしたが、多様な年代の利用者が訪れ、順調に推移しています。



(3) 情報発信等

ア 取組実績

貸会場の紹介や事業の取組など、若年層を中心に広く知ってもらうことを目的に、新たに **Instagram** を開設しました。また、センターに訪れる様々な人にインタビューを行い、「おもしろ人図鑑」を作成し、センターの魅力発信に取り組みました。

イ 取組の効果

発信媒体	ビュー数 リーチ数	ユーザー フォロワー	投稿数	いいね数
ホームページ	33,368 回 (105%)	11,683 名 (122%)	-	-
Facebook	148,350 回 (910.2%)	534 名 (4.3%)	151 回	4,507 回
Twitter	8,397 回	28 名	29 回	430 回
公式 LINE	-	51 名	38 回	-
Instagram	220,114 回 (100%)	160 名 (100%)	100 回	444 回

※昨年度と比較できるものは（）内に表記。

(4) 管理運営

消防用設備点検、建築設備点検等、施設保守に必要な点検を実施しました。また、スタッフの入れ替わりがあっても対応できるよう、火災等の災害時の対応方法について、フローチャートに基づいた行動マニュアルを作成しました。

(5) その他

当センターでは『団体登録制度』をとっており、登録時の設問に「当センターを知った動機」を尋ねるようにしております。その際の回答で多いものが、「知人の紹介」です。その点を踏まえ、今後は各部屋の紹介を分かりやすくまとめた広報物の設置など他の利用希望の方へ紹介しやすくなる方法を検討していきます。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】SDGs コミュニティ オーガナイザー (SCO) の育成・支援事業 (市民活動支援・活性化事業)

- 1 開催日時：①令和5年11月26日、12月3日、12月17日 計3回
②令和5年4月～令和6年3月（随時）
- 2 開催場所：下京いきいき市民活動センター
- 3 参加人数：①延べ23名／②4団体
- 4 協力団体等：崇仁自治連合会、京都市立芸術大学、七条中央サービス会など
- 5 予算：1,187,500円 / 決算：1,187,500円

1 事業内容

①連続講座「Dive-in SHIMOGYO」の実施

若者による地域活動のスタートと継続をテーマとする連続講座を実施しました。

◇【企画づくりワークショップ「地域でできること考え、企画を考えてみよう！」】

＜ゲスト＞：NPO 法人コミュニティスペース Sacula 木村友香里氏

◇【仲間づくりワークショップ「面白い仲間を作り、地域を巻き込んだ活動をしよう！」】

＜ゲスト＞：FOCUS! SHIMABARA（百瀬氏・鬼頭氏・梶浦氏・輯氏）

◇【課題整理ワークショップ「活動を続けたいから、自分たちで問題解決に近づけよう！」】

＜ゲスト＞：・Think Go 代表 佐々木郷氏

②まちづくり・地域課題解決に関心のある若者への相談対応・伴走支援

京都市立芸術大学の学生や、昨年度下京区と協働で実施した「下京ローカルグッド」の参加者など、大学生を中心とする若者が地域をよりよくしようと活動している団体を支援するための相談を随時受け付けました。

京都市立芸術大学の学生による【きょうげい B-LABO】・【あつめやさん】、下京ローカルグッド事業から生まれた【IVASHO 店街】・【Oikawa】などに対し、企画に対する助言・イベント等の事務支援・他の団体の紹介などの伴走支援を行いました。

2 準備段階での工夫

イベント広報等に Instagram を活用し、若者が共感できる情報発信を意識しました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

若者による地域活動を生み出し・活性化することを目標にしました。

(2) 事業実施による目標の達成度

若者による下京区内での様々な取組を生み出すことができました。

4 今後の抱負

今年度は、下京の東部と西部どちらのエリアでも活動を生み出すことができました。今後も引き続き、下京区全体をフィールドに若者自身のやりたいことを引き出し、地域住民のニーズと合致するような活動を生み出していきたいと思います。

事業風景の写真

【連続講座 Dive-in SHIMOGYO①の様子】



【商店街のシャッター店舗の前を活用したイベント「フムフム商店街」の様子】



【事業名】 事業者×市民活動の連携をもとにした魅力発信・持続化支援事業①
(市民活動支援・活性化事業)

- 1 開催日時：①令和5年4月～令和6年2月／計5回
 ②令和5年10月16日／令和5年11月～令和6年3月
- 2 開催場所：下京いきいき市民活動センター など
- 3 参加人数：①事業者4件、支援団体2件／②参加者：19名／6名
- 4 協力団体等：下京区中小企業家同友会・京都市クリエイティブ産業振興室など
- 5 予算： 1,187,500円 ／ 決算：1,187,500円

1 事業内容

①伝統工芸の現状・課題を明らかにするためのヒアリング・情報発信

下京区の伝統工芸の現状や協働できる可能性がある事業者を探るため、伝統工芸に関わるネットワーク団体（中小企業家同友会・市クリエイティブ産業振興室）へのヒアリングを行うとともに、そのつながりから幅広く伝統工芸従事者にヒアリングを行いました。

伝統的な手法で染色を行う「兼松染色」、西陣織の技法で大相撲の化粧まわしなどを制作する「錦旗」、京くみひもを扱う「昇苑くみひも」、京扇子を制作・販売する「山武扇舗」の方にお話を伺いました。

②伝統工芸に市民の関わりシロをつくる体験プログラム

京都の伝統的な文化を継承するために、若者が伝統工芸に携わることができ、次代の担い手を育成するためのプログラムを2件実施しました。

◇【京都デニム関わりシロ報告会】

社会人インターン「デニスク」の運営ノウハウや主催者の思いを知るイベント。

◇【大学生による伝統工芸の新たな体験の形を模索するプログラム】

学生・若手社会人のチームで、「昇苑くみひも」の工房見学・体験を行い、市民にとって親しみやすい体験プログラムの在り方を一緒に考えるワークショップ。

2 準備段階での工夫

事業者へのヒアリング結果を分析し、それぞれの事業者の強みとなる部分に焦点が当たるよう、市民が参画できる枠組みを企画することを心がけました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

伝統産業の抱える課題に対し市民が一緒に取り組めるようになることを目標としました。

(2) 事業実施による目標の達成度

主婦層や大学生が参加し、参加者層にあわせた取組を提示することができました。

4 今後の抱負

主婦層には定期的に通う“習い事”として、学生層には単発・短期的な“体験”にニーズがあることがわかりました。また、工芸のもつサステナブルな側面に魅力があることもわかり、そのような市民側のニーズを取り入れたプログラム開発を実施していきたいと思います。

事業風景の写真

【京都デニム関わりシロ報告会の様子】



【大学生が企画するくみひも体験ツアーの様子】



【事業名】事業者×市民活動の連携をもとにした魅力発信・持続化支援事業②
（市民活動支援・活性化事業）

- 1 開催日時：令和5年9月19日／9月28日／令和6年1月20日／2月10日・11日
- 2 開催場所：下京区：崇仁学区・菊浜学区 南区：陶化学区
- 3 参加人数：延べ参加者数：20名／HPビュー数：199回
- 4 協力団体等：京都市立芸術大学、京都多文化交流ネットワークサロンなど
- 5 予算： 1,187,500円 / 決算：1,187,500円

1 事業内容

①京都駅東エリアの関係人口を創出する「イーストサイドストーリー」の実施

大きな歴史的変換点を迎えている京都駅東エリアをフィールドに、先行して関係人口となったナビゲーターから、どのように地域に溶け込んだのかを学プログラムを実施しました。

◇「煮ごり一緒に作りませんか？」

学生時代にであった崇仁学区のおばあちゃんに教わった「ホルモンの煮凝り」を、ツアー参加者と一緒につくるプログラム。

◇「八方ミシンを一緒に攻略しませんか？」

地域の方から頂いた”八方ミシン”と芸大生の物語と、その使い方をツアー参加者と一緒に考えるプログラム。

◇「シャングリラ菊浜」

菊浜学区の建築と地域に根差す活動をするまでを追体験するプログラム。

◇「SUJIN CRAFT TOUR」

皮革業・靴産業が盛んだった崇仁地域において、地域の店舗をめぐりミニチュアの革靴づくりを体験できるプログラム。

②「イーストサイドストーリー」のランディングページ・アーカイブの制作による情報発信

ツアープログラムの情報発信を行うにあたって、事業コンセプトやツアー概要・アーカイブなどを保存・閲覧できるランディングページの制作を行いました。

2 準備段階での工夫

まちあるきやレクチャーだけでなく、参加者同士の交流時間などを意識的に組み込むことで、参加者のコミットメントを高めるプログラムづくりを意識しました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

地域を訪れる来訪者が地域課題に関心をもって関わるようになることを目標としました。

(2) 事業実施による目標の達成度

実施後も継続して訪ねてくださる方がおり、事業の有効性を確かめることができました。

4 今後の抱負

引き続き、下京東部エリアの人的資源の発掘・実施を進めるとともに、下京西部エリアや近隣の地域にも範囲を広げてプログラムを実施していきたいと思っています。

事業風景の写真

【煮凝りを一緒に作りませんか？ 地域の精肉店を来訪したときの様子】



【八方ミシンを一緒に攻略しませんか 参加者が八方ミシンを動かす様子】



【事業名】ダイバーシティを学び・表現するための多世代交流拠点化事業
(サロン運営・活用事業)

- 1 開催日時：①令和5年4月～令和6年3月
 ②令和5年4月26日／令和6年1月13日～1月28日・3月29日
- 2 開催場所：ふれあいサロン・下京いきいき市民活動センター
- 3 参加人数：サロン来館者数延べ840名
- 4 協力団体等：京都市立芸術大学 など
- 5 予算： 1,187,500円 ／ 決算：1,187,500円

1 事業内容

①誰もが訪れやすい拠点にするための施設整備

多様な方が気軽に集まれる場にできるように設備を整備したり、毎月1回“音楽カフェ”“笑ヨガカフェ”“防災カフェ”など定期的な催しを企画・開催したりしました。

②「アート」・「ものづくり」・「音楽」・「遊び」・「食」など、多様な切り口から地域課題の解決へつながるプロジェクトの創出

サロンの利用者が中心となって、地域課題を解決する新たな取組を生み出しました。

◇防災カフェから生まれた「企画展：五行歌 震災のうた展」

東日本大震災の体験をもとに書かれた五行歌の展示や、紙芝居の実演、親子向けのローリングストック体験（お菓子バッグづくり）、ボールを使った遊び（バルシューレ）などを実施しました。

◇芸大生による「アート×食」を切り口にしたイベント

京都市立芸術大学に通う学生が参加できる「煮凝りワークショップ」を地域住民の方と一緒に企画しました。また、大学内に食堂や購買がなく、昼食を一緒に食べることがない学生を対象に「絶望名人のおにぎりパーティー」を学生自ら企画・実施しました。

2 準備段階での工夫

自然発生的に取組が生まれるような来訪者とのコミュニケーションを意識しました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

多様な世代の来訪者が訪れ、地域に還元できる取組を生み出すことを目標にしました。

(2) 事業実施による目標の達成度

大学移転に伴って芸大生が利用する機会も増え、多様な年代の利用が進みました。

4 今後の抱負

地域住民の利用が少なく、またセンターとは違う自由な環境を活かして、地域課題から市民活動を生み出すのではなく、自由な集まりの場から“遊び”の感覚で市民活動が生まれていく場にしていきたいと思います。

事業風景の写真

【防災カフェメンバーが企画した お菓子バッグづくりワークショップの様子】



【芸大の大学の授業の一環で実施した「煮凝りワークショップ」の様子】



3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：6,270,580円（前年度比129%）

内訳 会議室等：6,215,800円
 付属設備：54,780円 ※自主事業分を除く

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

特になし

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
39%	58.8%	0.3%	0%	1.9%

(※質問7項目の平均点を記載しています。)

(2) センター独自アンケート

特になし

3 意見等への主な対応状況

・「施設に気付かず通り過ぎてしまった」という意見があり、センター外部の掲示板の情報を整理し、新たにセンターの貸館情報などを掲載いたしました。

・「集会室の掃除が不十分」「集会室のオーディオの不調がまだ直らない」という意見があり、改めてスタッフ全体で清掃方法を確認しました。また、機械・設備などの不調が見つかった場合の、施設管理担当者に速やかに報告することを徹底するようにしました。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

【事業等の総括】

・(センター運営)

貸館の利用状況はコロナ・料金改定以前の状況に戻りつつあり、引き続き利用満足度が高い状態を維持することもできていますので、こうした状況を継続していけるよう努めていきます。昨年度の課題であった光熱水費についても、電力会社の見直し・スタッフによる節電対策の徹底などにより、状況を改善することができました。

・(市民活動支援・活性化事業)

大学生や若手社会人などの若者が中心になって、新たな活動を生み出すことができています。地域のニーズに寄り添いながら、なおかつ若者自身のやりたいことが実現できる、そうした取組を生み出せる事業展開を引き続き実施していきます。

・(サロン運営)

サロンを中心に多様な年代のコミュニティが徐々に生まれてきています。特に、一部の京都市立芸術大学の学生が、地域住民と繋がりながらモノづくりを行う場所として使用するなど、単に交流するための場所ではなく取組を生み出す場にしていきたいと思っています。

【今後の課題】

・(センター運営)

開館後 15 年が経過しセンターの様々な設備に経年劣化が見られます。火災報知器や非常時の誘導灯のバッテリー交換など、災害時の悪影響が想定されるものもあるため、市と相談しながら改修していく必要があります。また、物価高騰・最低賃金の改定などに対応し、限られた資源の中でスタッフ一人ひとりの生活を確保していくことも課題の一つです。

・(市民活動支援・活性化事業)

若者の地域活動への伴走支援を通じて、地域の事情・課題や活動者一人ひとりの思い・状況に寄り添うことの難しさを実感しました。スタッフ一人ひとりが、形式的な支援体制にとらわれず、状況に応じて必要な支援を提案できる力を身につけていくことが必要です。

・(サロン運営)

芸大が開校し、学生の利用が増えています。また子どもや子育て層の利用なども促進していく上で、改めて老朽化した設備の改修（男女共用のトイレ・錆が出る水道・旧称の施設案内など）や開館時間の変更などを検討していく必要があります。

【次年度に向けた対応】

いよいよ、京都市立美術工芸高校・京都市立芸術大学が開校しました。センター周辺でも多くの若者が行き交う様子が頻繁にみられるようになりました。しかし、そうした若者と生活をしている地域住民との交流は多くはありません。文化・芸術を活かしたまちづくりを推進していくためにも、地域と若者をつなぐセンターの役割を強化・発信していきます。

また、コロナ禍を経て地域活動・経済活動ともに本格化してきています。オンラインツールの普及などの変化はあったものの、地域の担い手不足・オーバーツーリズム等の課題は解決されず再び顕在化してきています。人口減少・高齢化の進む地域社会において、改めて持続可能性を問い直し、未来を提示できるような取組を生み出していきたいと思っています。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。
特になし。

【締め切り】

5月22日（水）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙1部を提出

※ 地域自治推進室の確認後、紙の残部（17部又は18部）を提出

※ 収支決算書は、5月15日（水）までに提出してください。

京都市下京いきいき市民活動センター

指定管理料等に関する収支決算書（令和5年度分）

指定管理者名 有限責任事業組合 まちとしごと総合研究所

代表者名 代表組合員 岡本 卓也

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		18,734,540	18,734,540	0
利用料金収入		5,839,680	6,270,580	430,900
	会議室等	5,760,000	6,215,800	455,800
	スモールオフィス	0	0	0
	付属設備（ロッカー）	79,680	54,780	▲ 24,900
その他収入	光熱水費分担金	3,800,000	3,022,700	▲ 777,300
				0
当期収入合計		28,374,220	28,027,820	▲ 346,400
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		11,920,000	12,816,705	▲ 896,705
	職員9名	9,720,000	10,611,488	▲ 891,488
	法定福利費	1,500,000	1,498,917	1,083
	旅費・交通費	700,000	706,300	▲ 6,300
光熱水費		7,100,000	5,915,765	1,184,235
	電気代	4,000,000	3,200,386	799,614
	ガス代	1,100,000	806,335	293,665
	水道代	2,000,000	1,909,044	90,956
施設管理費		1,910,000	1,707,673	202,327
	樹木剪定	0	0	0
	定期清掃等	400,000	386,375	13,625
	機械警備	280,000	253,880	26,120
	消防保守点検	60,000	24,750	35,250
	空調保守点検	280,000	264,000	16,000
	一般廃棄物	100,000	79,200	20,800
	自家用電気工作物	200,000	171,468	28,532
	雑用水用給水設備	0	0	0
	建築設備点検	200,000	154,000	46,000
	エレベーター保守管理	280,000	264,000	16,000
	特殊建築物定期点検	110,000	110,000	0
事務費		480,000	769,110	▲ 289,110
	消耗品費	20,000	148,999	▲ 128,999
	リース料	200,000	161,216	38,784
	通信費	200,000	400,630	▲ 200,630

	新聞図書費	25,000	22,800	2,200
	保険料	15,000	15,120	▲ 120
	支払報酬	0	0	0
	支払手数料	20,000	20,345	▲ 345
	利用料還付金	0	0	0
修繕費		400,000	0	400,000
	設備不良等	400,000	0	400,000
				0
備品購入費（5万円以上の物品）		0	0	0
	なし	0	0	0
租税公課		1,613,454	1,571,616	41,838
	消費税等	1,613,454	1,571,616	41,838
その他		0	0	0
	なし	0	0	0
施設運営業務支出合計		23,423,454	22,780,869	642,585
2. 事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,562,500	3,562,500	0
	SDGsコミュニティ オーガナイザー（SCO）の育成・支援事業	1,187,500	1,187,500	0
	事業者×市民活動の連携をもとにした魅力発信・持続化支援事業①	1,187,500	1,187,500	0
	事業者×市民活動の連携をもとにした魅力発信・持続化支援事業②	1,187,500	1,187,500	0
サロン運営・活用事業費		1,187,500	1,187,500	0
	ダイバーシティを学び・表現するための多世代交流拠点化事業	1,187,500	1,187,500	0
その他	事業実施業務繰越	0	0	0
事業実施業務支出合計		4,750,000	4,750,000	0
当期支出合計		28,173,454	27,530,869	642,585
当期収支差額		200,766	496,951	296,185